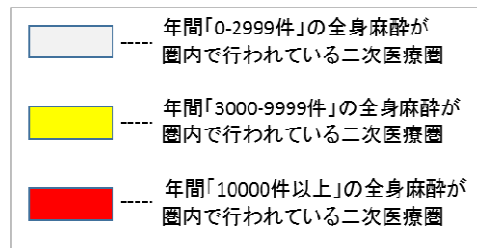
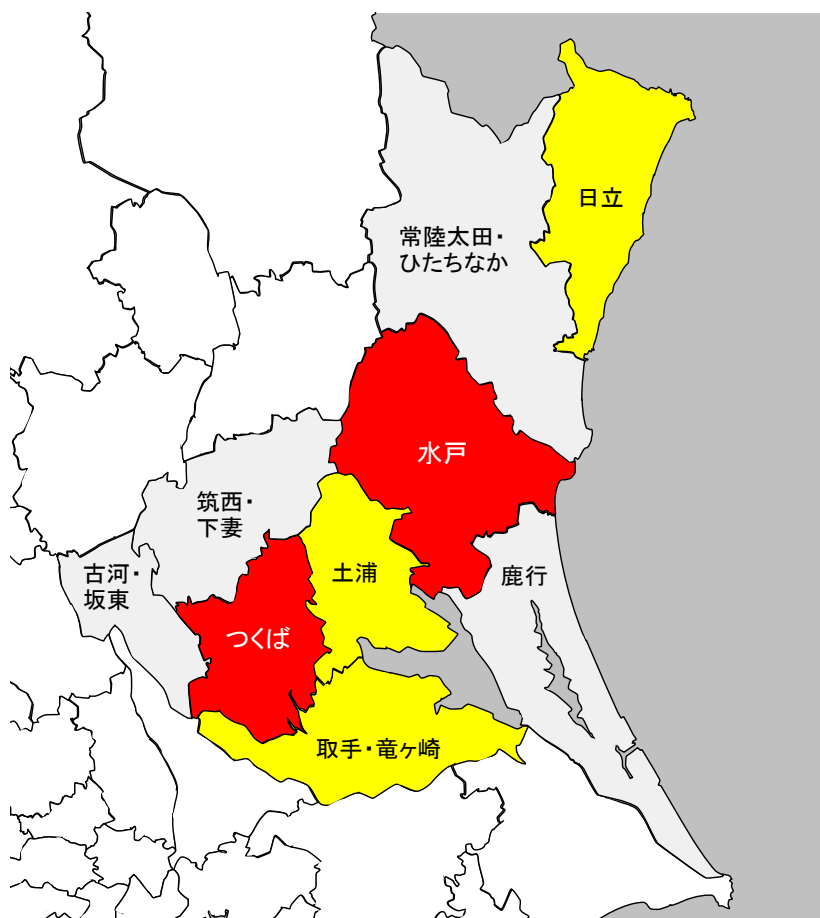


# 8. 茨城県



目次

茨城県 .....	8 -	3
1. 水戸医療圏 .....	8 -	9
2. 日立医療圏 .....	8 -	15
3. 常陸太田・ひたちなか医療圏 .....	8 -	21
4. 鹿行医療圏 .....	8 -	27
5. 土浦医療圏 .....	8 -	33
6. つくば医療圏 .....	8 -	39
7. 取手・竜ヶ崎医療圏 .....	8 -	45
8. 筑西・下妻医療圏 .....	8 -	51
9. 古河・坂東医療圏 .....	8 -	57

## 茨城県

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は38,554人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,440人(38%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は180人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

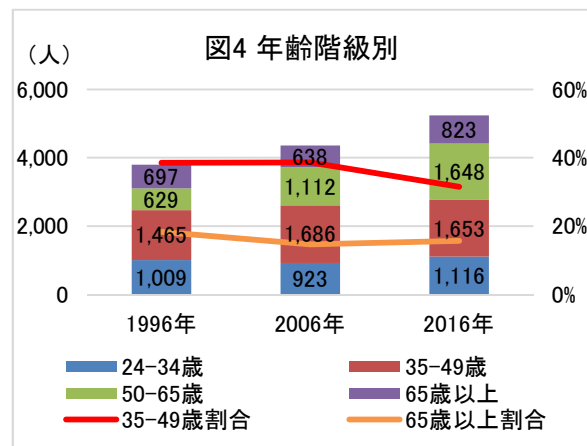
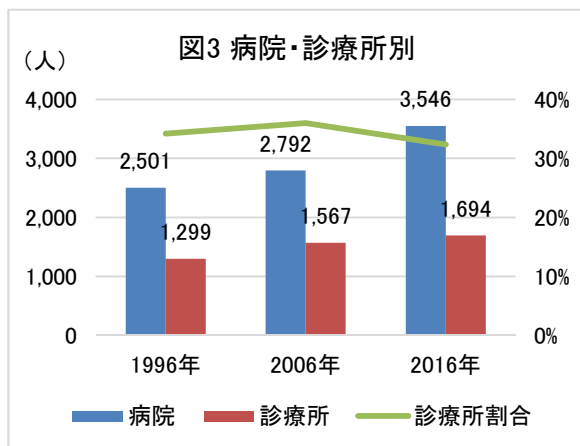
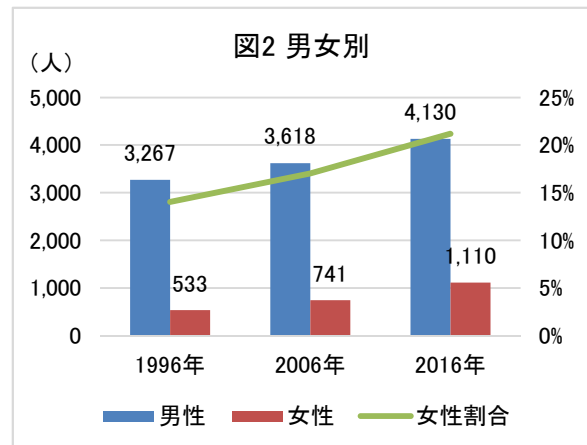
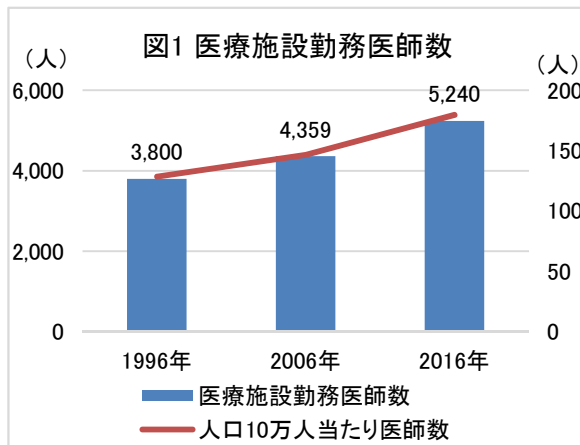
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて863人(26%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に577人(108%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1,045人(42%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に395人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は188人(13%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて126人(18%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 茨城県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,955,530	2,975,167	2,916,976	-38,554	-1%	19,637	1%	-58,191	-2%	
総医師数	3,975	4,609	5,513	1,538	39%	634	16%	904	20%	
人口10万対	134.5	154.9	189.0	54.5	41%	20.4	15%	34.1	22%	
医療施設勤務医師数	3,800	4,359	5,240	1,440	38%	559	15%	881	20%	
人口10万対	128.6	146.5	179.6	51.1	40%	17.9	14%	33.1	23%	
男性医師数	3,267	3,618	4,130	863	26%	351	11%	512	14%	
人口10万対	110.5	121.6	141.6	31.0	28%	11.1	10%	20.0	16%	
女性医師数	533	741	1,110	577	108%	208	39%	369	50%	
人口10万対	18.0	24.9	38.1	20.0	111%	6.9	38%	13.1	53%	
病院勤務医師数	2,501	2,792	3,546	1,045	42%	291	12%	754	27%	
人口10万対	84.6	93.8	121.6	36.9	44%	9.2	11%	27.7	30%	
診療所勤務医師数	1,299	1,567	1,694	395	30%	268	21%	127	8%	
人口10万対	44.0	52.7	58.1	14.1	32%	8.7	20%	5.4	10%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.9	48.1	49.3	2.4	5%	1.1	2%	1.3	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,009	923	1,116	107	11%	-86	-9%	193	21%
	35-49歳	1,465	1,686	1,653	188	13%	221	15%	-33	-2%
	50-64歳	629	1,112	1,648	1,019	162%	483	77%	536	48%
	65歳以上	697	638	823	126	18%	-59	-8%	185	29%
	75歳以上(再掲)	179	293	274	95	53%	114	64%	-19	-6%
男性	24-34歳	794	673	761	-33	-4%	-121	-15%	88	13%
	35-49歳	1,284	1,387	1,234	-50	-4%	103	8%	-153	-11%
	50-64歳	576	985	1,404	828	144%	409	71%	419	43%
	65歳以上	613	573	731	118	19%	-40	-7%	158	28%
	75歳以上(再掲)	148	253	245	97	66%	105	71%	-8	-3%
女性	24-34歳	215	250	355	140	65%	35	16%	105	42%
	35-49歳	181	299	419	238	131%	118	65%	120	40%
	50-64歳	53	127	244	191	360%	74	140%	117	92%
	65歳以上	84	65	92	8	10%	-19	-23%	27	42%
	75歳以上(再掲)	31	40	29	-2	-6%	9	29%	-11	-28%
病院	24-34歳	968	895	1,096	128	13%	-73	-8%	201	22%
	35-49歳	1,043	1,203	1,294	251	24%	160	15%	91	8%
	50-64歳	301	502	886	585	194%	201	67%	384	76%
	65歳以上	189	192	270	81	43%	3	2%	78	41%
	75歳以上(再掲)	47	75	80	33	70%	28	60%	5	7%
診療所	24-34歳	41	28	20	-21	-51%	-13	-32%	-8	-29%
	35-49歳	422	483	359	-63	-15%	61	14%	-124	-26%
	50-64歳	328	610	762	434	132%	282	86%	152	25%
	65歳以上	508	446	553	45	9%	-62	-12%	107	24%
	75歳以上(再掲)	132	218	194	62	47%	86	65%	-24	-11%
	85歳以上(再掲)	16	23	56	40	250%	7	44%	33	143%

茨城県

＜医師数の推移＞

茨城県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,800	128.6	43	4,359	146.5	43	5,240	179.6	43	1,440	38%	51.1	40%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,553	52.5	43	1,648	55.4	42	1,897	65.0	42	344	22%	12.5	24%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	223	7.5	42	231	7.8	42	284	9.7	43	61	27%	2.2	29%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	173	5.9	45	207	7.0	44	241	8.3	43	68	39%	2.4	41%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	429	14.5	43	387	13.0	43	451	15.5	45	22	5%	0.9	7%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	20	0.7	54	17	0.6	51	26	0.9	54	6	30%	0.2	32%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	32	1.1	46	34	1.1	45	55	1.9	47	23	72%	0.8	74%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	118	4.0	48	129	4.3	48	160	5.5	49	42	36%	1.5	37%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	307	10.4	45	332	11.2	43	382	13.1	43	75	24%	2.7	26%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	25	0.8	48	31	1.0	47	39	1.3	45	14	56%	0.5	58%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	103	3.5	44	122	4.1	44	158	5.4	45	55	53%	1.9	55%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	173	5.9	44	208	7.0	44	243	8.3	45	70	40%	2.5	42%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	137	4.6	43	138	4.6	43	137	4.7	42	0	0%	0.1	1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	75	2.5	43	102	3.4	44	120	4.1	44	45	60%	1.6	62%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	223	7.5	45	218	7.3	45	252	8.6	46	29	13%	1.1	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	13	0.4	46	26	0.9	45	31	1.1	44	18	138%	0.6	142%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	59	2.0	46	55	1.8	43	81	2.8	43	22	37%	0.8	39%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	84	2.8	46	90	3.0	45	141	4.8	45	57	68%	2.0	70%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				18	0.6	45	50	1.7	46	32	178%	1.1	183%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				232	7.8	46	325	11.1	48	325	40%	3.3	43%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	53	1.8	44	134	4.5	49	167	5.7	47	114	215%	3.9	219%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 茨城県

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は370,817人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,522人(29%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は266人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は48%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

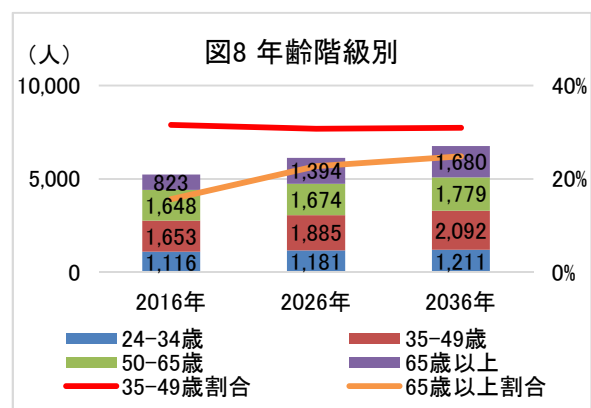
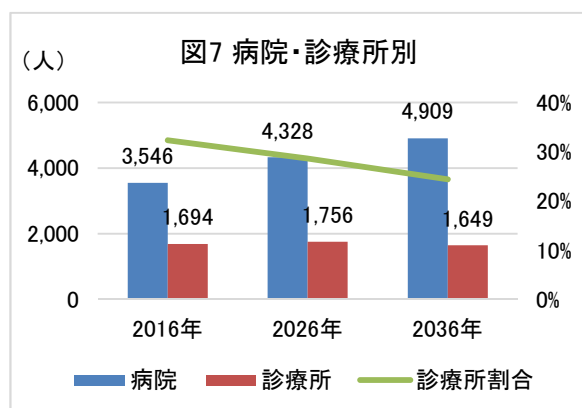
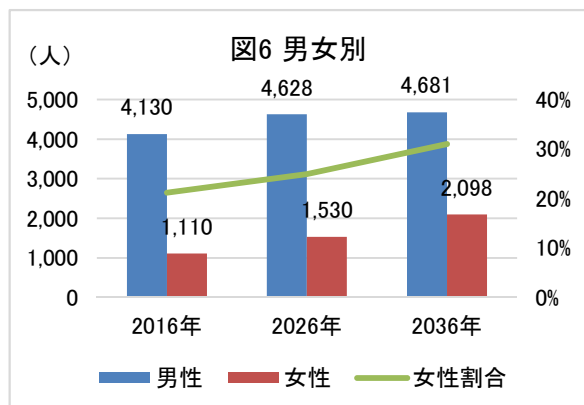
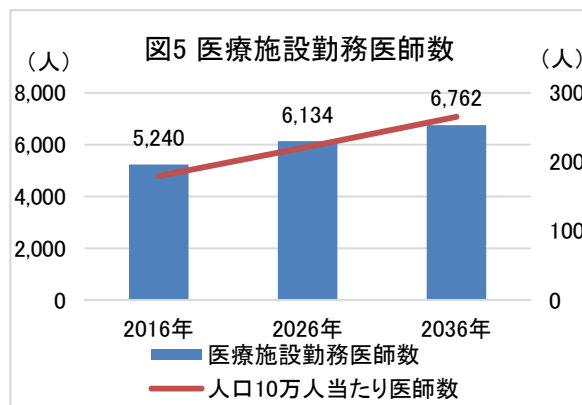
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて551人(13%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に988人(89%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,363人(38%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に45人(-3%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は439人(27%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて857人(104%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



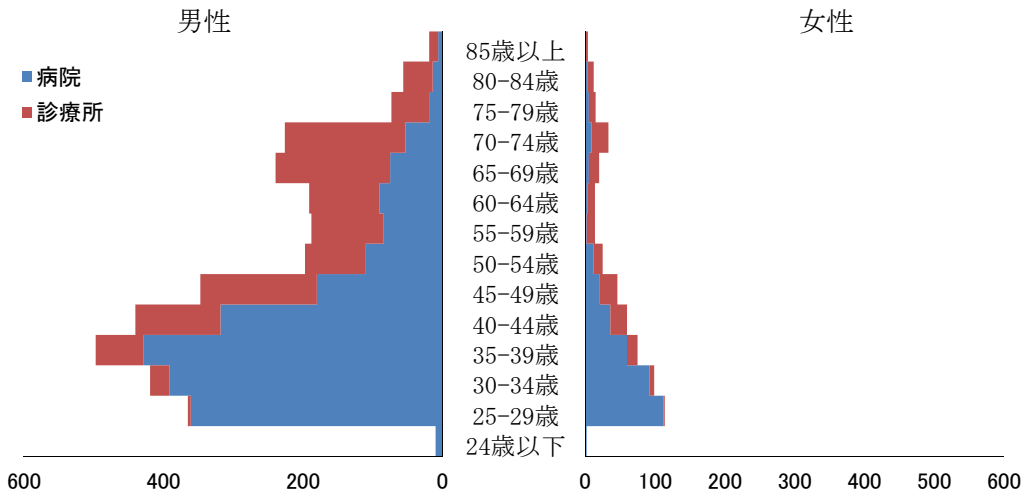
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

茨城県

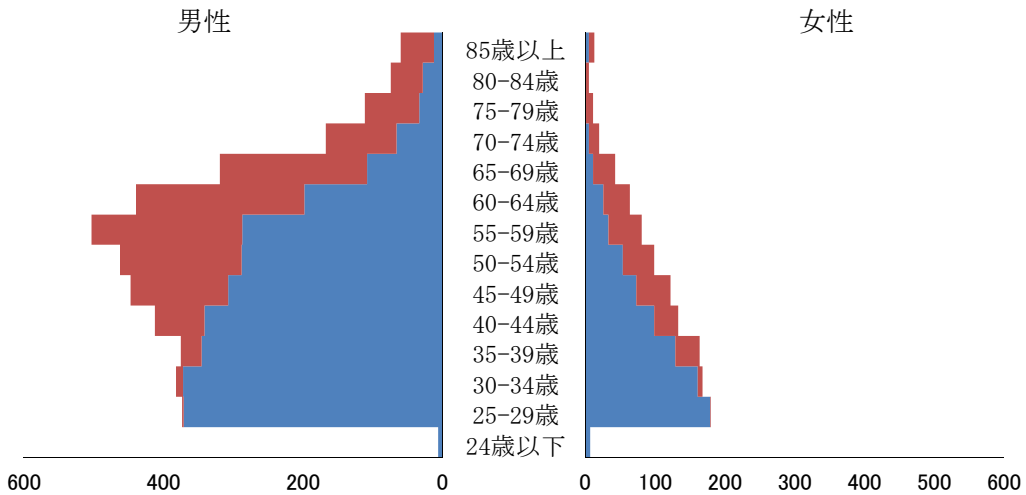
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

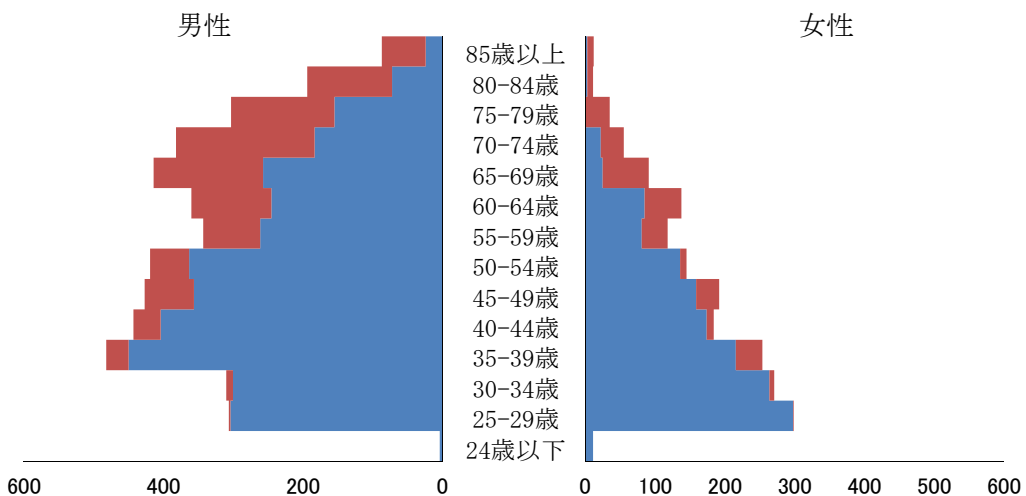
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 茨城県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,916,976	2,764,115	2,546,159	-370,817	-13%	-152,861	-5%	-217,956	-8%	
医療施設勤務医師数	5,240	6,134	6,762	1,522	29%	894	17%	628	10%	
人口10万対	179.6	221.9	265.6	85.9	48%	42.3	24%	43.7	20%	
男性医師数	4,130	4,628	4,681	551	13%	498	12%	53	1%	
人口10万対	141.6	167.4	183.8	42.3	30%	25.8	18%	16.4	10%	
女性医師数	1,110	1,530	2,098	988	89%	420	38%	568	37%	
人口10万対	38.1	55.4	82.4	44.3	117%	17.3	45%	27.0	49%	
病院勤務医師数	3,546	4,328	4,909	1,363	38%	782	22%	581	13%	
人口10万対	121.6	156.6	192.8	71.2	59%	35.0	29%	36.2	23%	
診療所勤務医師数	1,694	1,756	1,649	-45	-3%	62	4%	-107	-6%	
人口10万対	58.1	63.5	64.8	6.7	12%	5.5	9%	1.2	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,116	1,181	1,211	95	9%	65	6%	30	3%
	35-49歳	1,653	1,885	2,092	439	27%	232	14%	207	11%
	50-64歳	1,648	1,674	1,779	131	8%	26	2%	105	6%
	65歳以上	823	1,394	1,680	857	104%	571	69%	286	21%
	75歳以上(再掲)	274	402	677	403	147%	128	47%	275	68%
男性	24-34歳	761	804	619	-142	-19%	43	6%	-185	-23%
	35-49歳	1,234	1,298	1,415	181	15%	64	5%	117	9%
	50-64歳	1,404	1,308	1,262	-142	-10%	-96	-7%	-46	-4%
	65歳以上	731	1,218	1,385	654	89%	487	67%	167	14%
	75歳以上(再掲)	245	354	581	336	137%	109	44%	227	64%
女性	24-34歳	355	376	582	227	64%	21	6%	206	55%
	35-49歳	419	607	699	280	67%	188	45%	92	15%
	50-64歳	244	382	545	301	123%	138	57%	163	43%
	65歳以上	92	165	272	180	196%	73	79%	107	65%
	75歳以上(再掲)	29	44	75	46	159%	15	52%	31	70%
病院	24-34歳	1,096	1,160	1,189	93	8%	64	6%	29	2%
	35-49歳	1,294	1,560	1,741	447	35%	266	21%	181	12%
	50-64歳	886	1,019	1,182	296	33%	133	15%	163	16%
	65歳以上	270	589	797	527	195%	319	118%	208	35%
	75歳以上(再掲)	80	122	283	203	254%	42	53%	161	132%
診療所	24-34歳	20	20	20	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	359	293	299	-60	-17%	-66	-18%	6	2%
	50-64歳	762	626	471	-291	-38%	-136	-18%	-155	-25%
	65歳以上	553	817	859	306	55%	264	48%	42	5%
	75歳以上(再掲)	194	284	396	202	104%	90	46%	112	39%
	85歳以上(再掲)	56	52	76	20	36%	-4	-7%	24	46%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 水戸医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は4,345人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は299人(39%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は229人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

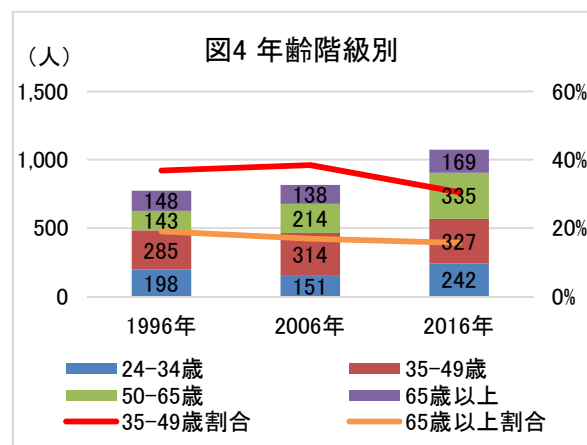
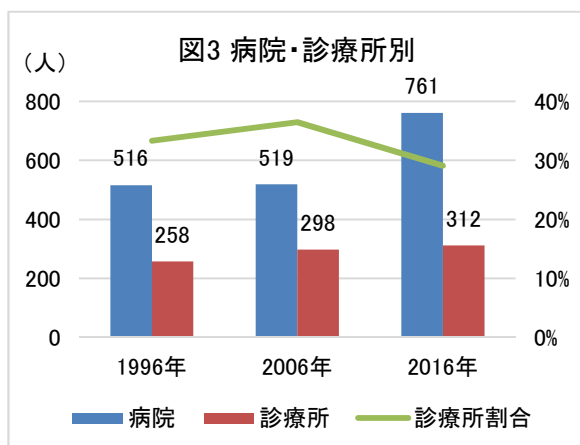
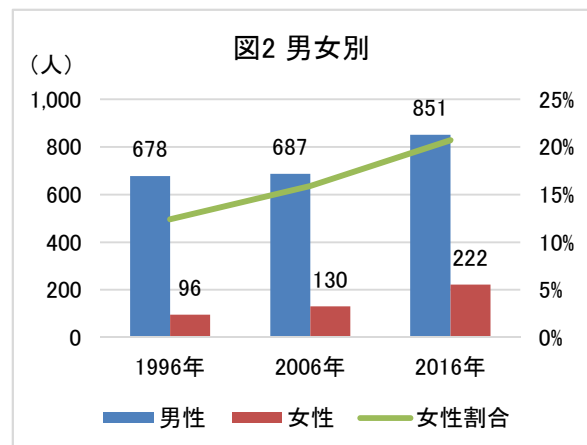
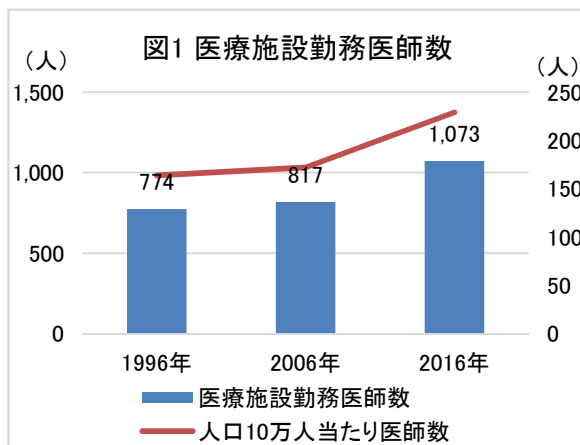
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて173人(26%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に126人(131%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて245人(47%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に54人(21%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は29%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は42人(15%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて21人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 水戸医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	472,385	474,571	468,040	-4,345	-1%	2,186	0%	-6,531	-1%	
総医師数	805	859	1,112	307	38%	54	7%	253	29%	
人口10万対	170.4	181.0	237.6	67.2	39%	10.6	6%	56.6	31%	
医療施設勤務医師数	774	817	1,073	299	39%	43	6%	256	31%	
人口10万対	163.8	172.2	229.3	65.4	40%	8.3	5%	57.1	33%	
男性医師数	678	687	851	173	26%	9	1%	164	24%	
人口10万対	143.5	144.8	181.8	38.3	27%	1.2	1%	37.1	26%	
女性医師数	96	130	222	126	131%	34	35%	92	71%	
人口10万対	20.3	27.4	47.4	27.1	133%	7.1	35%	20.0	73%	
病院勤務医師数	516	519	761	245	47%	3	1%	242	47%	
人口10万対	109.2	109.4	162.6	53.4	49%	0.1	0%	53.2	49%	
診療所勤務医師数	258	298	312	54	21%	40	16%	14	5%	
人口10万対	54.6	62.8	66.7	12.0	22%	8.2	15%	3.9	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.8	49.0	49.1	1.3	3%	1.2	3%	0.1	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	198	151	242	44	22%	-47	-24%	91	60%
	35-49歳	285	314	327	42	15%	29	10%	13	4%
	50-64歳	143	214	335	192	134%	71	50%	121	57%
	65歳以上	148	138	169	21	14%	-10	-7%	31	22%
	75歳以上(再掲)	26	54	66	40	154%	28	108%	12	22%
男性	24-34歳	158	119	168	10	6%	-39	-25%	49	41%
	35-49歳	250	257	242	-8	-3%	7	3%	-15	-6%
	50-64歳	136	187	291	155	114%	51	38%	104	56%
	65歳以上	134	124	150	16	12%	-10	-7%	26	21%
	75歳以上(再掲)	25	45	58	33	132%	20	80%	13	29%
女性	24-34歳	40	32	74	34	85%	-8	-20%	42	131%
	35-49歳	35	57	85	50	143%	22	63%	28	49%
	50-64歳	7	27	44	37	529%	20	286%	17	63%
	65歳以上	14	14	19	5	36%	0	0%	5	36%
	75歳以上(再掲)	1	9	8	7	700%	8	800%	-1	-11%
病院	24-34歳	188	145	240	52	28%	-43	-23%	95	66%
	35-49歳	219	237	271	52	24%	18	8%	34	14%
	50-64歳	67	99	192	125	187%	32	48%	93	94%
	65歳以上	42	38	58	16	38%	-4	-10%	20	53%
	75歳以上(再掲)	5	13	21	16	320%	8	160%	8	62%
診療所	24-34歳	10	6	2	-8	-80%	-4	-40%	-4	-67%
	35-49歳	66	77	56	-10	-15%	11	17%	-21	-27%
	50-64歳	76	115	143	67	88%	39	51%	28	24%
	65歳以上	106	100	111	5	5%	-6	-6%	11	11%
	75歳以上(再掲)	21	41	45	24	114%	20	95%	4	10%
	85歳以上(再掲)	5	1	12	7	140%	-4	-80%	11	1100%

## 水戸医療圏

## ＜医師数の推移＞

水戸医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科、救急科であり、少ない診療科は、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	774	163.8	48	817	172.2	46	1,073	229.3	49	299	39%	65.4	40%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	285	60.3	46	284	59.8	44	369	78.8	47	84	29%	18.5	31%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	50	10.6	49	49	10.3	47	63	13.5	50	13	26%	2.9	27%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	46	9.7	54	49	10.3	51	54	11.5	49	8	17%	1.8	18%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	108	22.9	52	76	16.0	47	97	20.7	52	-11	-10%	-2.1	-9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.8	56	7	1.5	66	8	1.7	66	4	100%	0.9	102%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	1.1	46	9	1.9	49	12	2.6	51	7	140%	1.5	142%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	20	4.2	49	28	5.9	54	30	6.4	52	10	50%	2.2	51%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	58	12.3	48	58	12.2	45	73	15.6	48	15	26%	3.3	27%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	7	1.5	54	11	2.3	56	13	2.8	55	6	86%	1.3	87%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	22	4.7	48	18	3.8	43	31	6.6	49	9	41%	2.0	42%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	29	6.1	44	37	7.8	45	46	9.8	49	17	59%	3.7	60%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	30	6.4	48	23	4.8	43	23	4.9	42	-7	-23%	-1.4	-23%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	16	3.4	47	20	4.2	47	24	5.1	48	8	50%	1.7	51%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	51	10.8	52	44	9.3	50	56	12.0	53	5	10%	1.2	11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.4	46	2	0.4	42	4	0.9	43	2	100%	0.4	102%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	10	2.1	46	5	1.1	41	5	1.1	39	-5	-50%	-1.0	-50%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	17	3.6	49	19	4.0	47	34	7.3	50	17	100%	3.7	102%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				4	0.8	46	18	3.8	56	14	350%	3.0	356%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				45	9.5	48	79	16.9	54	79	76%	7.4	78%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	14	3.0	47	29	6.1	52	34	7.3	50	20	143%	4.3	145%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 水戸医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は51,807人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は535人(50%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は386人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は69%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

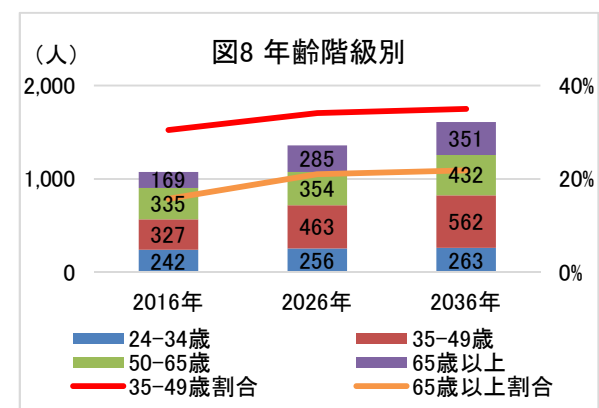
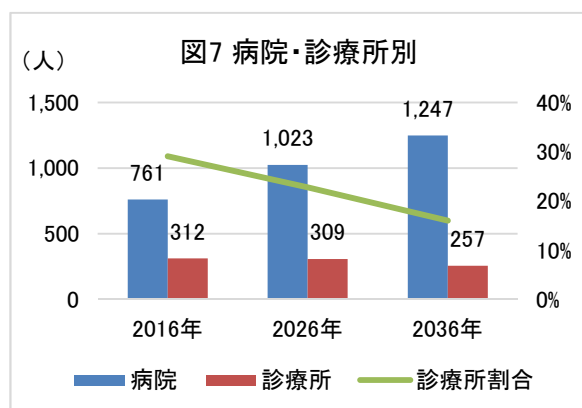
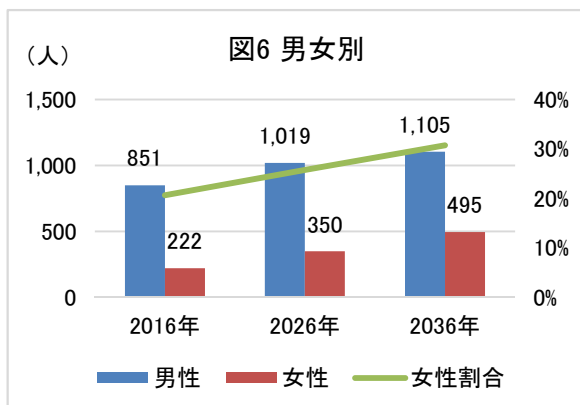
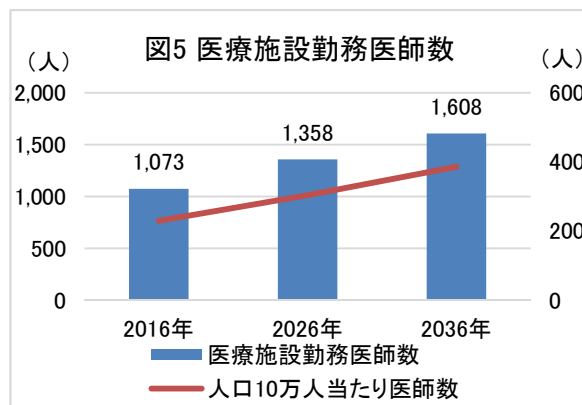
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて254人(30%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に273人(123%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて486人(64%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に55人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は16%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は235人(72%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて182人(108%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



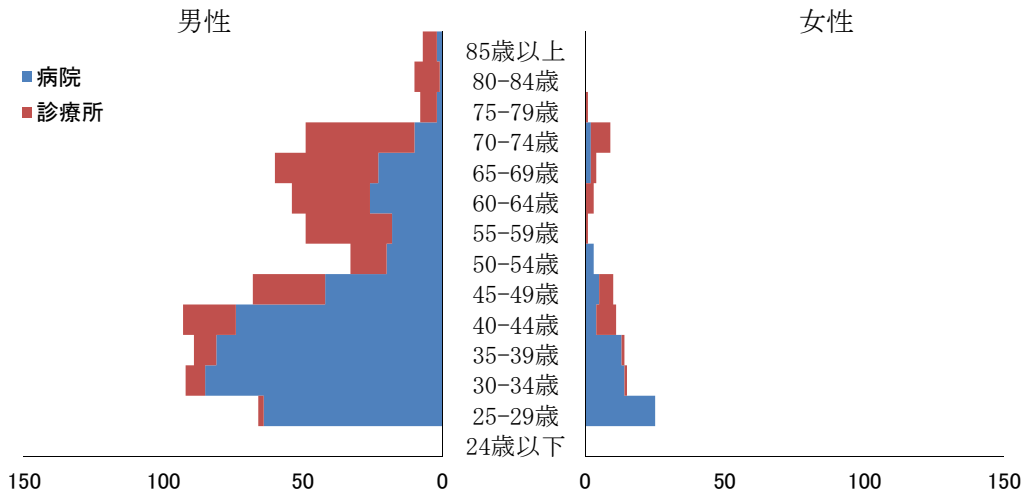
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 水戸医療圏

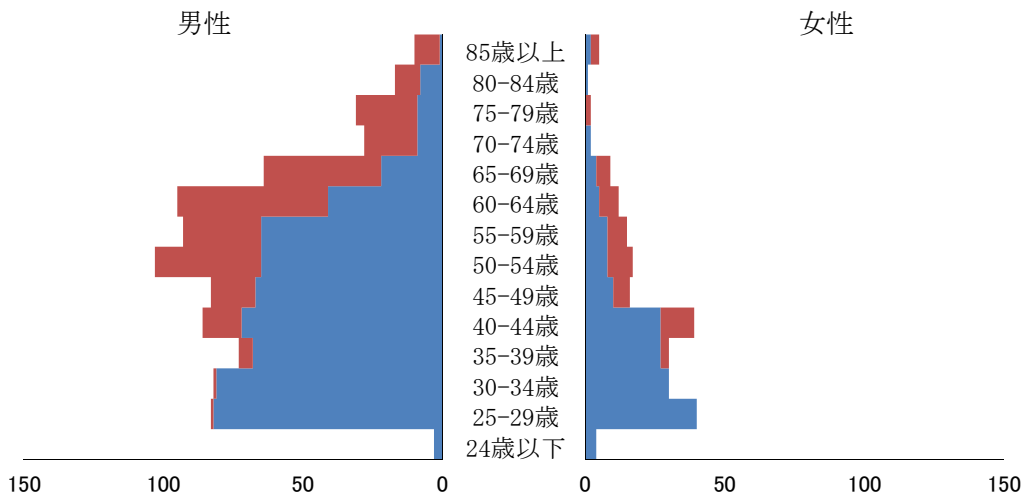
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

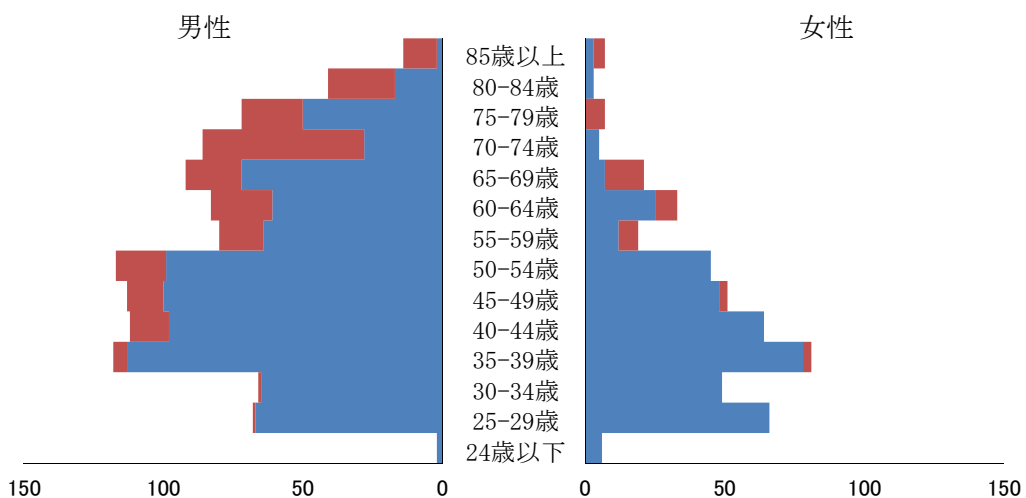
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 水戸医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	468,040	447,379	416,233	-51,807	-11%	-20,661	-4%	-31,146	-7%	
医療施設勤務医師数	1,073	1,358	1,608	535	50%	285	27%	250	18%	
人口10万対	229.3	303.5	386.3	157.1	69%	74.3	32%	82.8	27%	
男性医師数	851	1,019	1,105	254	30%	168	20%	86	8%	
人口10万対	181.8	227.8	265.5	83.7	46%	45.9	25%	37.7	17%	
女性医師数	222	350	495	273	123%	128	58%	145	41%	
人口10万対	47.4	78.2	118.9	71.5	151%	30.8	65%	40.7	52%	
病院勤務医師数	761	1,023	1,247	486	64%	262	34%	224	22%	
人口10万対	162.6	228.7	299.6	137.0	84%	66.1	41%	70.9	31%	
診療所勤務医師数	312	309	257	-55	-18%	-3	-1%	-52	-17%	
人口10万対	66.7	69.1	61.7	-4.9	-7%	2.4	4%	-7.3	-11%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	242	256	263	21	9%	14	6%	7	3%
	35-49歳	327	463	562	235	72%	136	42%	99	21%
	50-64歳	335	354	432	97	29%	19	6%	78	22%
	65歳以上	169	285	351	182	108%	116	69%	66	23%
	75歳以上(再掲)	66	84	147	81	123%	18	27%	63	75%
男性	24-34歳	168	177	136	-32	-19%	9	5%	-41	-23%
	35-49歳	242	303	355	113	47%	61	25%	52	17%
	50-64歳	291	285	306	15	5%	-6	-2%	21	7%
	65歳以上	150	254	308	158	105%	104	69%	54	21%
	75歳以上(再掲)	58	72	127	69	119%	14	24%	55	76%
女性	24-34歳	74	79	121	47	64%	5	7%	42	53%
	35-49歳	85	176	223	138	162%	91	107%	47	27%
	50-64歳	44	64	111	67	152%	20	45%	47	73%
	65歳以上	19	31	40	21	111%	12	63%	9	29%
	75歳以上(再掲)	8	11	18	10	125%	3	38%	7	64%
病院	24-34歳	240	254	261	21	9%	14	6%	7	3%
	35-49歳	271	404	489	218	80%	133	49%	85	21%
	50-64歳	192	231	309	117	61%	39	20%	78	34%
	65歳以上	58	134	188	130	224%	76	131%	54	40%
	75歳以上(再掲)	21	31	78	57	271%	10	48%	47	152%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	56	30	31	-25	-45%	-26	-46%	1	3%
	50-64歳	143	114	63	-80	-56%	-29	-20%	-51	-45%
	65歳以上	111	163	161	50	45%	52	47%	-2	-1%
	75歳以上(再掲)	45	54	67	22	49%	9	20%	13	24%
	85歳以上(再掲)	12	13	16	4	33%	1	8%	3	23%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日立医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は40,878人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1人(0%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は143人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は16%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

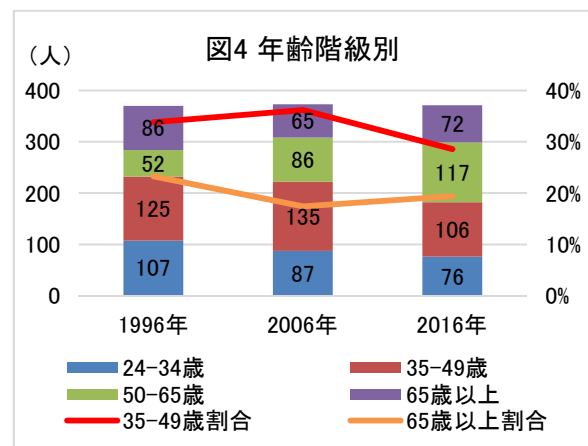
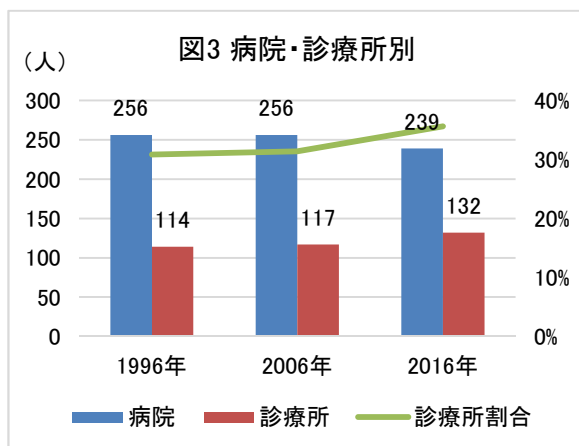
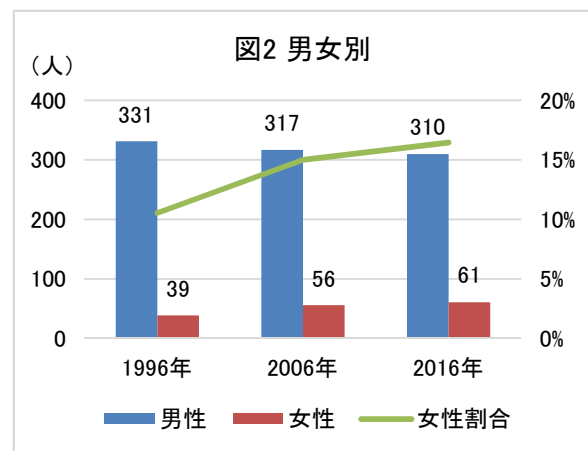
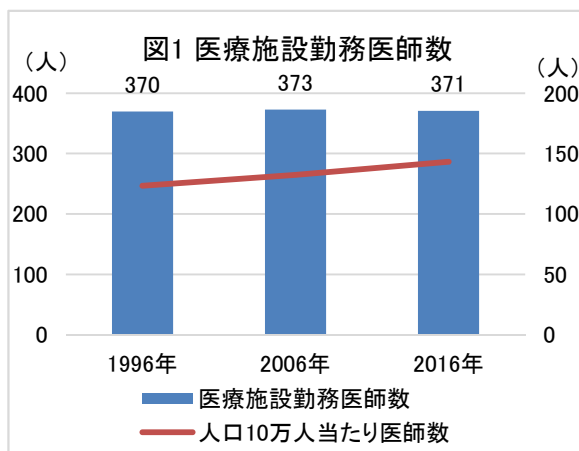
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて21人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に22人(56%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて17人(-7%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(16%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は19人(-15%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて14人(-16%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年19%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。



## 日立医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	299,982	281,795	259,104	-40,878	-14%	-18,187	-6%	-22,691	-8%	
総医師数	381	396	396	15	4%	15	4%	0	0%	
人口10万対	127.0	140.5	152.8	25.8	20%	13.5	11%	12.3	9%	
医療施設勤務医師数	370	373	371	1	0%	3	1%	-2	-1%	
人口10万対	123.3	132.4	143.2	19.8	16%	9.0	7%	10.8	8%	
男性医師数	331	317	310	-21	-6%	-14	-4%	-7	-2%	
人口10万対	110.3	112.5	119.6	9.3	8%	2.2	2%	7.1	6%	
女性医師数	39	56	61	22	56%	17	44%	5	9%	
人口10万対	13.0	19.9	23.5	10.5	81%	6.9	53%	3.7	18%	
病院勤務医師数	256	256	239	-17	-7%	0	0%	-17	-7%	
人口10万対	85.3	90.8	92.2	6.9	8%	5.5	6%	1.4	2%	
診療所勤務医師数	114	117	132	18	16%	3	3%	15	13%	
人口10万対	38.0	41.5	50.9	12.9	34%	3.5	9%	9.4	23%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.3	48.5	50.8	3.5	7%	1.2	3%	2.2	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	107	87	76	-31	-29%	-20	-19%	-11	-13%
	35-49歳	125	135	106	-19	-15%	10	8%	-29	-21%
	50-64歳	52	86	117	65	125%	34	65%	31	36%
	65歳以上	86	65	72	-14	-16%	-21	-24%	7	11%
	75歳以上(再掲)	14	34	30	16	114%	20	143%	-4	-12%
男性	24-34歳	91	64	55	-36	-40%	-27	-30%	-9	-14%
	35-49歳	118	114	83	-35	-30%	-4	-3%	-31	-27%
	50-64歳	48	81	104	56	117%	33	69%	23	28%
	65歳以上	74	58	68	-6	-8%	-16	-22%	10	17%
	75歳以上(再掲)	13	30	27	14	108%	17	131%	-3	-10%
女性	24-34歳	16	23	21	5	31%	7	44%	-2	-9%
	35-49歳	7	21	23	16	229%	14	200%	2	10%
	50-64歳	4	5	13	9	225%	1	25%	8	160%
	65歳以上	12	7	4	-8	-67%	-5	-42%	-3	-43%
	75歳以上(再掲)	1	4	3	2	200%	3	300%	-1	-25%
病院	24-34歳	100	86	74	-26	-26%	-14	-14%	-12	-14%
	35-49歳	99	100	82	-17	-17%	1	1%	-18	-18%
	50-64歳	24	40	62	38	158%	16	67%	22	55%
	65歳以上	33	30	21	-12	-36%	-3	-9%	-9	-30%
	75歳以上(再掲)	5	15	9	4	80%	10	200%	-6	-40%
診療所	24-34歳	7	1	2	-5	-71%	-6	-86%	1	100%
	35-49歳	26	35	24	-2	-8%	9	35%	-11	-31%
	50-64歳	28	46	55	27	96%	18	64%	9	20%
	65歳以上	53	35	51	-2	-4%	-18	-34%	16	46%
	75歳以上(再掲)	9	19	21	12	133%	10	111%	2	11%
	85歳以上(再掲)	1	0	9	8	800%	-1	-100%	9	



## 日立医療圏

### <医師数の推移>

日立医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、皮膚科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	370	123.3	43	373	132.4	41	371	143.2	39	1	0%	19.8	16%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	141	47.0	42	148	52.5	41	120	46.3	36	-21	-15%	-0.7	-1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	27	9.0	46	17	6.0	38	15	5.8	36	-12	-44%	-3.2	-36%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	25	8.3	51	22	7.8	46	20	7.7	42	-5	-20%	-0.6	-7%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	42	14.0	43	34	12.1	41	42	16.2	46	0	0%	2.2	16%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	4	1.3	48	3	1.1	44	4	1.5	45	0	0%	0.2	16%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	18	6.0	56	18	6.4	56	16	6.2	51	-2	-11%	0.2	3%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	35	11.7	47	27	9.6	39	34	13.1	43	-1	-3%	1.5	12%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.3	44	4	1.4	49	2	0.8	42	1	100%	0.4	132%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	2.7	42	15	5.3	47	17	6.6	48	9	113%	3.9	146%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	18	6.0	44	16	5.7	40	18	6.9	42	0	0%	0.9	16%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	2.7	38	9	3.2	38	5	1.9	33	-3	-38%	-0.7	-28%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	3.3	47	13	4.6	49	10	3.9	43	0	0%	0.5	16%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	17	5.7	40	16	5.7	41	14	5.4	39	-3	-18%	-0.3	-5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.7	49	1	0.4	41	2	0.8	42	0	0%	0.1	16%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	2.0	46	6	2.1	44	3	1.2	39	-3	-50%	-0.8	-42%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	1.7	43	4	1.4	40	8	3.1	41	3	60%	1.4	85%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	7	2.7	51	7		2.7	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				15	5.3	43	20	7.7	44	20	33%	2.4	45%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.0	42	5	1.8	43	14	5.4	47	11	367%	4.4	440%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 日立医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は52,123人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は5人(1%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は182人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

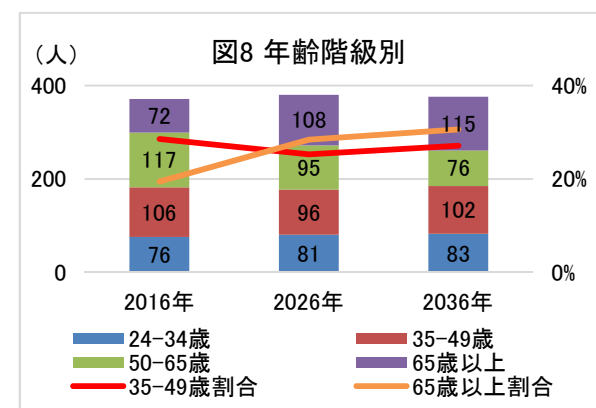
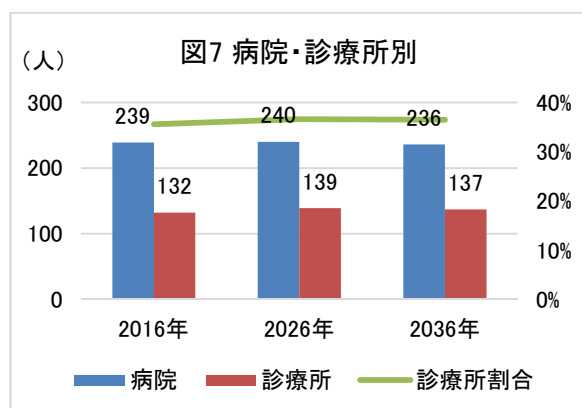
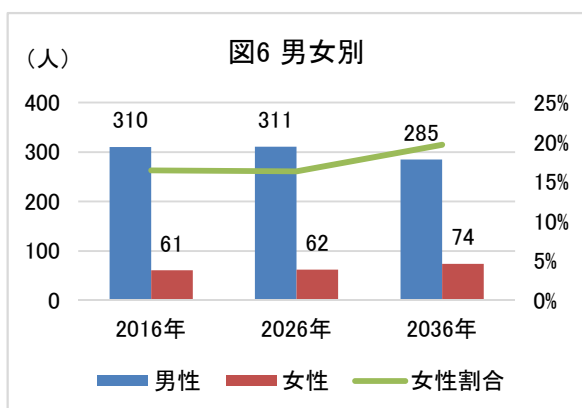
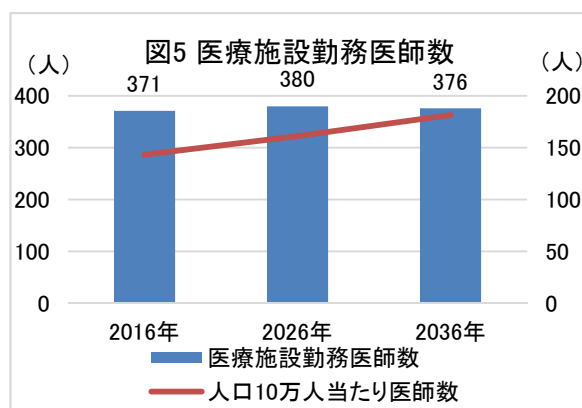
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて25人(-8%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に13人(21%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は20%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-1%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(4%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は4人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて43人(60%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



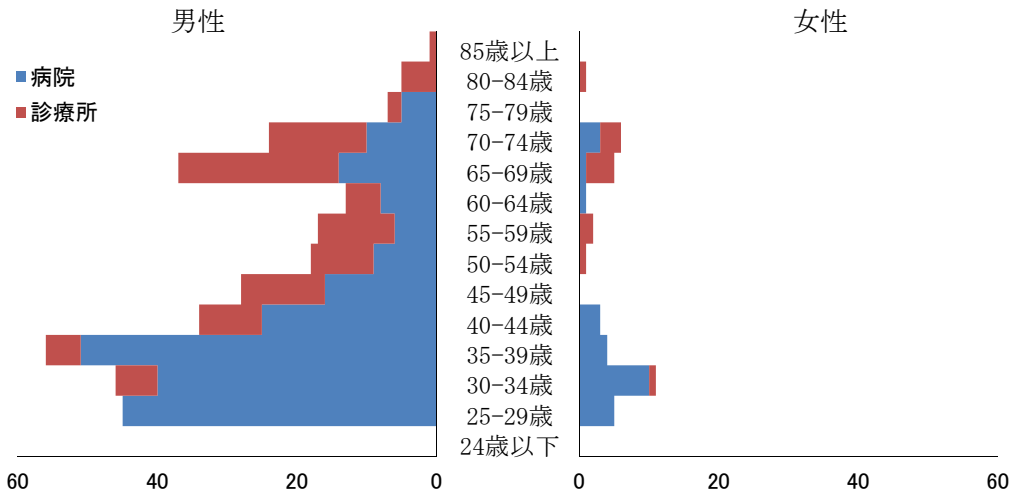
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

日立医療圏

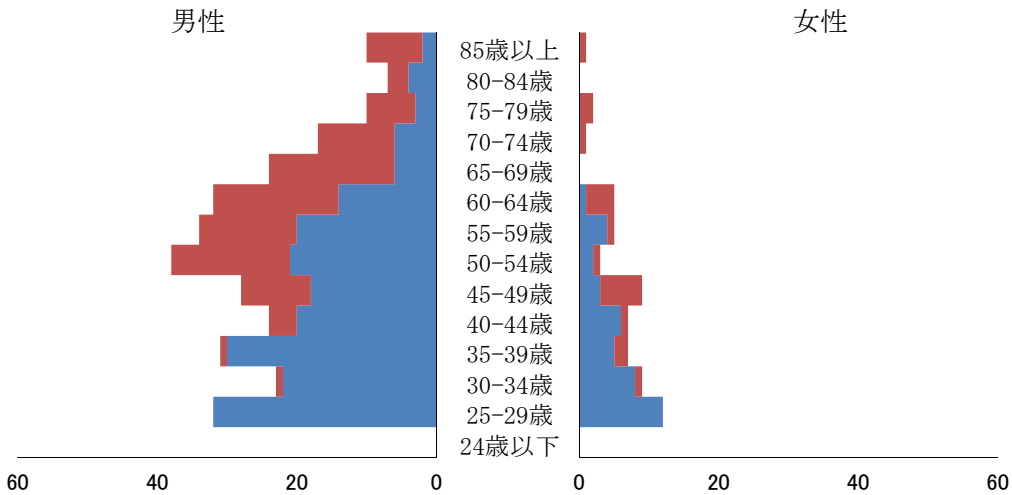
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

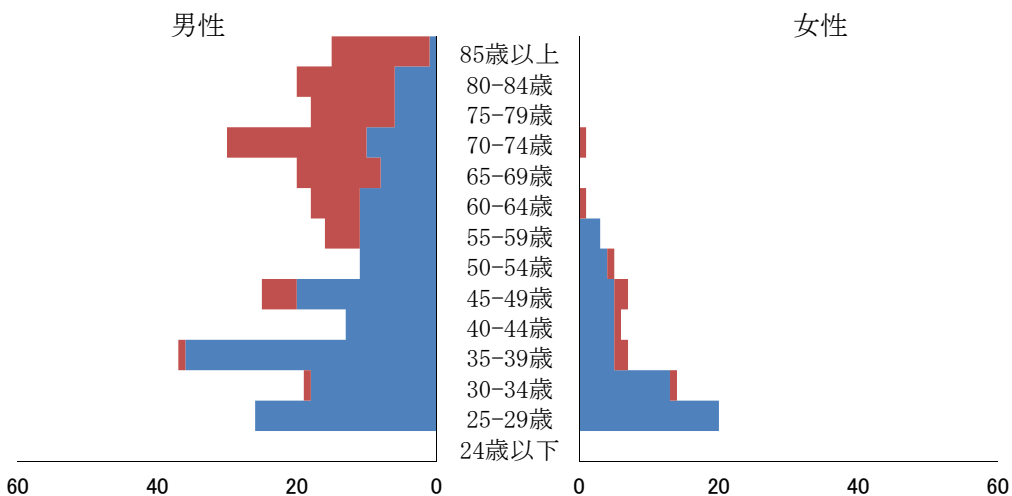
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日立医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	259,104	235,892	206,981	-52,123	-20%	-23,212	-9%	-28,911	-12%	
医療施設勤務医師数	371	380	376	5	1%	9	2%	-4	-1%	
人口10万対	143.2	161.1	181.7	38.5	27%	17.9	13%	20.6	13%	
男性医師数	310	311	285	-25	-8%	1	0%	-26	-8%	
人口10万対	119.6	131.8	137.7	18.1	15%	12.2	10%	5.9	4%	
女性医師数	61	62	74	13	21%	1	2%	12	19%	
人口10万対	23.5	26.3	35.8	12.2	52%	2.7	12%	9.5	36%	
病院勤務医師数	239	240	236	-3	-1%	1	0%	-4	-2%	
人口10万対	92.2	101.7	114.0	21.8	24%	9.5	10%	12.3	12%	
診療所勤務医師数	132	139	137	5	4%	7	5%	-2	-1%	
人口10万対	50.9	58.9	66.2	15.2	30%	8.0	16%	7.3	12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	76	81	83	7	9%	5	7%	2	2%
	35-49歳	106	96	102	-4	-4%	-10	-9%	6	6%
	50-64歳	117	95	76	-41	-35%	-22	-19%	-19	-20%
	65歳以上	72	108	115	43	60%	36	50%	7	6%
	75歳以上(再掲)	30	36	55	25	83%	6	20%	19	53%
男性	24-34歳	55	59	45	-10	-18%	4	7%	-14	-24%
	35-49歳	83	77	83	0	0%	-6	-7%	6	8%
	50-64歳	104	78	58	-46	-44%	-26	-25%	-20	-26%
	65歳以上	68	97	99	31	46%	29	43%	2	2%
	75歳以上(再掲)	27	34	49	22	81%	7	26%	15	44%
女性	24-34歳	21	22	35	14	67%	1	5%	13	59%
	35-49歳	23	19	19	-4	-17%	-4	-17%	0	0%
	50-64歳	13	15	16	3	23%	2	15%	1	7%
	65歳以上	4	6	4	0	0%	2	50%	-2	-33%
	75歳以上(再掲)	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
病院	24-34歳	74	79	80	6	8%	5	7%	1	1%
	35-49歳	82	77	81	-1	-1%	-5	-6%	4	5%
	50-64歳	62	50	42	-20	-32%	-12	-19%	-8	-16%
	65歳以上	21	34	33	12	57%	13	62%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	9	7	14	5	56%	-2	-22%	7	100%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	24	19	19	-5	-21%	-5	-21%	0	0%
	50-64歳	55	45	28	-27	-49%	-10	-18%	-17	-38%
	65歳以上	51	73	88	37	73%	22	43%	15	21%
	75歳以上(再掲)	21	33	46	25	119%	12	57%	13	39%
	85歳以上(再掲)	9	10	15	6	67%	1	11%	5	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 常陸太田・ひたちなか医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は9,733人(-3%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は113人(42%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は105人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は46%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

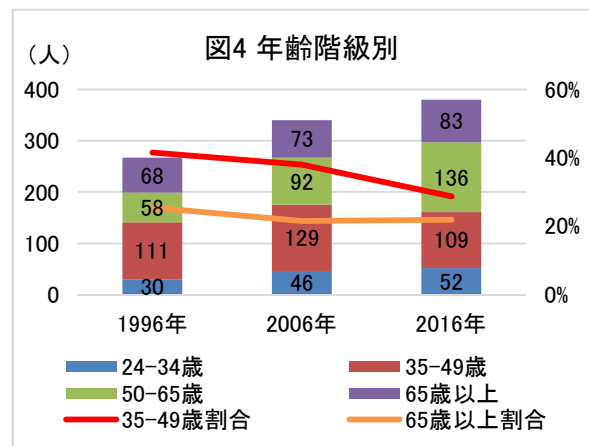
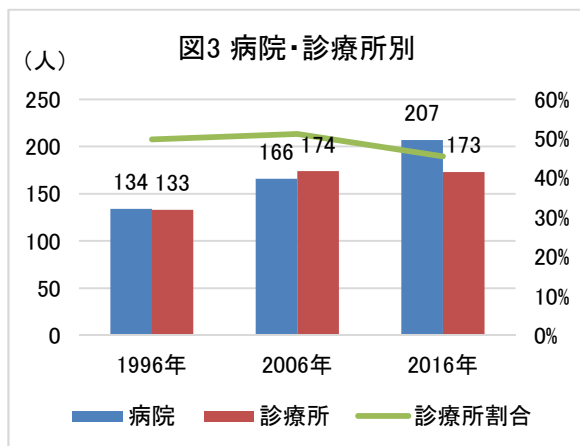
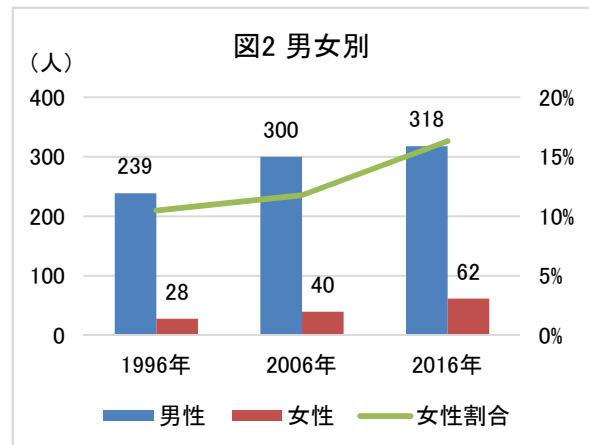
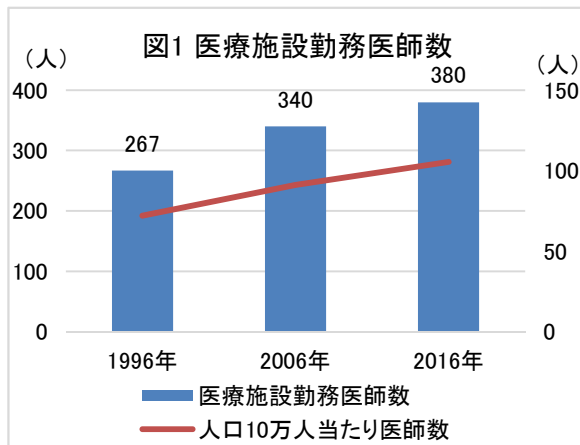
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて79人(33%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に34人(121%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて73人(54%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に40人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は46%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(-2%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(22%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年22%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 常陸太田・ひたちなか医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	370,345	373,507	360,612	-9,733	-3%	3,162	1%	-12,895	-3%	
総医師数	276	354	388	112	41%	78	28%	34	10%	
人口10万対	74.5	94.8	107.6	33.1	44%	20.3	27%	12.8	14%	
医療施設勤務医師数	267	340	380	113	42%	73	27%	40	12%	
人口10万対	72.1	91.0	105.4	33.3	46%	18.9	26%	14.3	16%	
男性医師数	239	300	318	79	33%	61	26%	18	6%	
人口10万対	64.5	80.3	88.2	23.6	37%	15.8	24%	7.9	10%	
女性医師数	28	40	62	34	121%	12	43%	22	55%	
人口10万対	7.6	10.7	17.2	9.6	127%	3.1	42%	6.5	61%	
病院勤務医師数	134	166	207	73	54%	32	24%	41	25%	
人口10万対	36.2	44.4	57.4	21.2	59%	8.3	23%	13.0	29%	
診療所勤務医師数	133	174	173	40	30%	41	31%	-1	-1%	
人口10万対	35.9	46.6	48.0	12.1	34%	10.7	30%	1.4	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.9	51.8	53.5	1.6	3%	-0.1	0%	1.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	30	46	52	22	73%	16	53%	6	13%
	35-49歳	111	129	109	-2	-2%	18	16%	-20	-16%
	50-64歳	58	92	136	78	134%	34	59%	44	48%
	65歳以上	68	73	83	15	22%	5	7%	10	14%
	75歳以上(再掲)	16	37	35	19	119%	21	131%	-2	-5%
男性	24-34歳	24	34	34	10	42%	10	42%	0	0%
	35-49歳	95	112	86	-9	-9%	17	18%	-26	-23%
	50-64歳	56	83	120	64	114%	27	48%	37	45%
	65歳以上	64	71	78	14	22%	7	11%	7	10%
	75歳以上(再掲)	14	35	35	21	150%	21	150%	0	0%
女性	24-34歳	6	12	18	12	200%	6	100%	6	50%
	35-49歳	16	17	23	7	44%	1	6%	6	35%
	50-64歳	2	9	16	14	700%	7	350%	7	78%
	65歳以上	4	2	5	1	25%	-2	-50%	3	150%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	27	38	48	21	78%	11	41%	10	26%
	35-49歳	64	67	64	0	0%	3	5%	-3	-4%
	50-64歳	25	40	63	38	152%	15	60%	23	58%
	65歳以上	18	21	32	14	78%	3	17%	11	52%
	75歳以上(再掲)	8	10	10	2	25%	2	25%	0	0%
診療所	24-34歳	3	8	4	1	33%	5	167%	-4	-50%
	35-49歳	47	62	45	-2	-4%	15	32%	-17	-27%
	50-64歳	33	52	73	40	121%	19	58%	21	40%
	65歳以上	50	52	51	1	2%	2	4%	-1	-2%
	75歳以上(再掲)	8	27	25	17	213%	19	238%	-2	-7%
	85歳以上(再掲)	0	4	8	8		4		4	100%



## 常陸太田・ひたちなか医療圏

## ＜医師数の推移＞

常陸太田・ひたちなか医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	267	72.1	36	340	91.0	36	380	105.4	35	113	42%	33.3	46%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	134	36.2	38	149	39.9	37	156	43.3	35	22	16%	7.1	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	4.1	35	17	4.6	34	21	5.8	36	6	40%	1.8	44%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	0.8	32	13	3.5	36	13	3.6	34	10	333%	2.8	345%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	43	11.6	40	40	10.7	39	40	11.1	39	-3	-7%	-0.5	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	0.5	43	2	0.5	41	2	0.6	39	0	0%	0.0	3%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	1.4	38	7	1.9	37	8	2.2	36	3	60%	0.9	64%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	18	4.9	33	26	7.0	34	29	8.0	33	11	61%	3.2	65%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.8	48	0	0.0	39	3	0.8	42	0	0%	0.0	3%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	2.2	41	12	3.2	41	10	2.8	38	2	25%	0.6	28%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	14	3.8	39	19	5.1	39	16	4.4	36	2	14%	0.7	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	1.4	34	7	1.9	34	10	2.8	36	5	100%	1.4	105%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	1.1	37	10	2.7	41	15	4.2	44	11	275%	3.1	285%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	11	3.0	34	16	4.3	37	20	5.5	40	9	82%	2.6	87%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	3	0.8	45	2	0.6	41	2	0%	0.6	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.3	40	1	0.3	38	2	0.6	37	1	100%	0.3	105%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.3	39	2	0.5	37	3	0.8	36	2	200%	0.6	208%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.5	44	1	0.3	39	-1	-50%	-0.3	-48%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				10	2.7	40	18	5.0	41	18	80%	2.3	86%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	4	1.1	42	11	3.1	42	11	0%	3.1	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 常陸太田・ひたちなか医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は46,934人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は66人(17%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は142人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

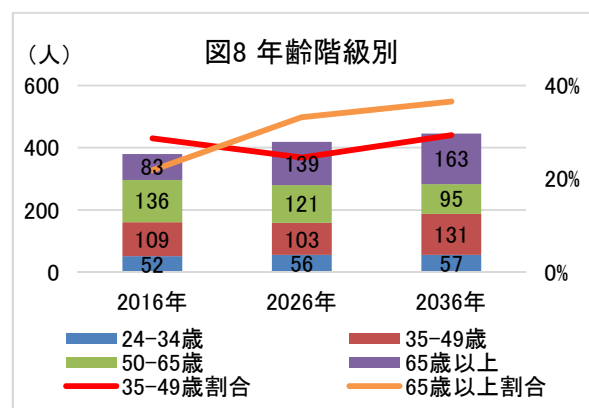
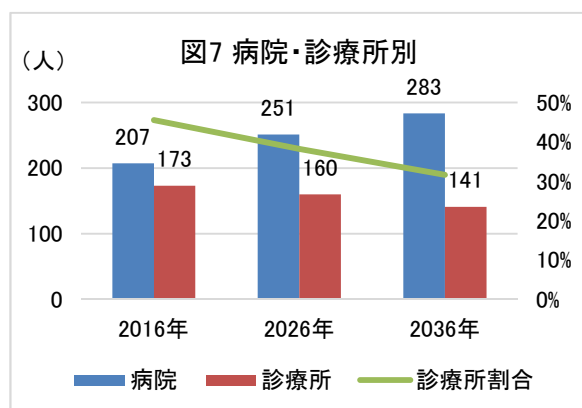
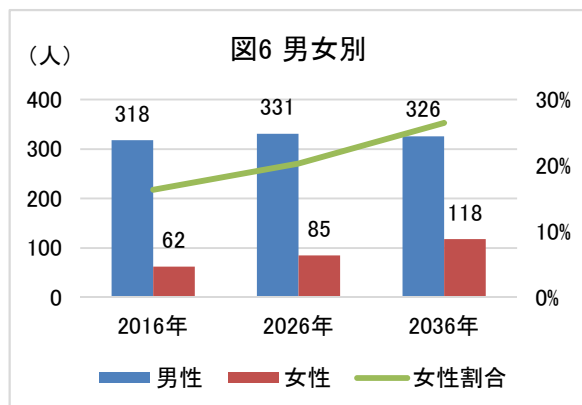
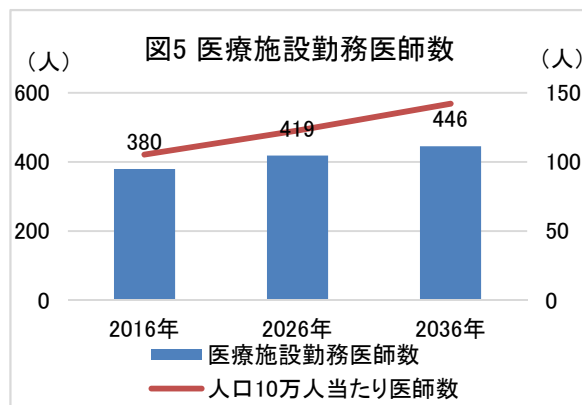
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて8人(3%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に56人(90%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて76人(37%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に32人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は22人(20%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて80人(96%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年37%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

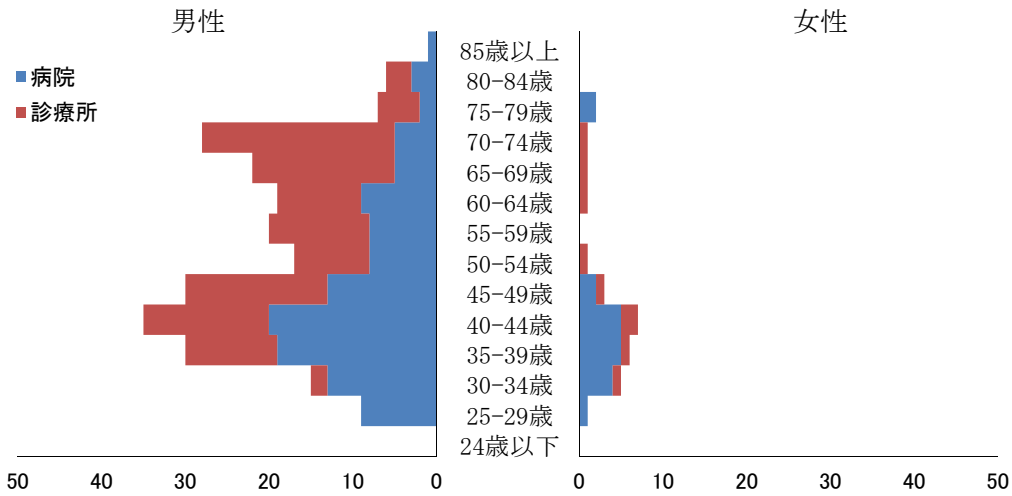


### 常陸太田・ひたちなか医療圏

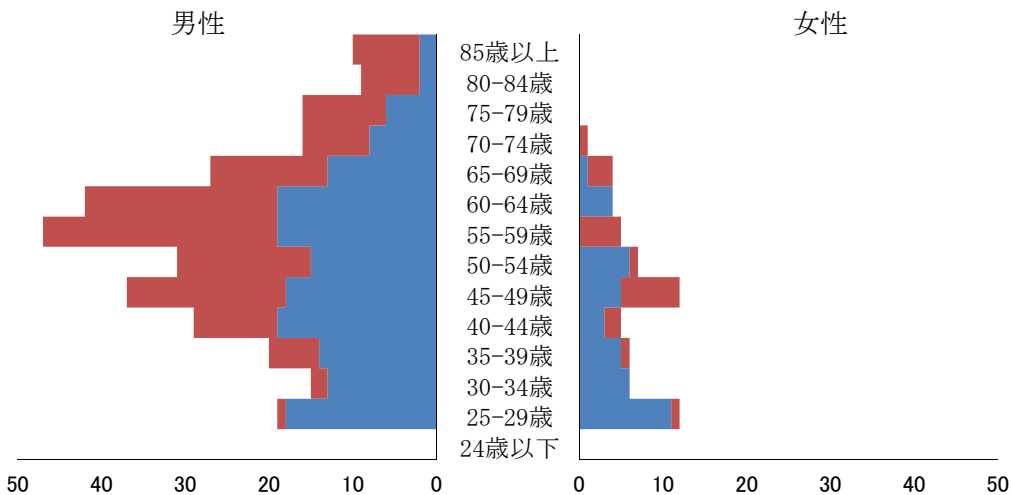
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

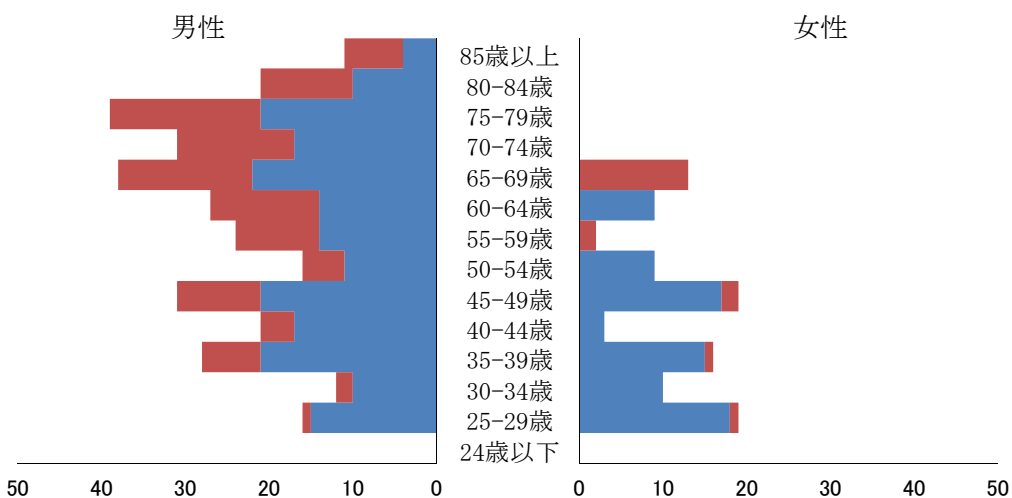
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 常陸太田・ひたちなか医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	360,612	341,119	313,678	-46,934	-13%	-19,493	-5%	-27,441	-8%	
医療施設勤務医師数	380	419	446	66	17%	39	10%	27	6%	
人口10万対	105.4	122.8	142.2	36.8	35%	17.5	17%	19.4	16%	
男性医師数	318	331	326	8	3%	13	4%	-5	-2%	
人口10万対	88.2	97.0	103.9	15.7	18%	8.9	10%	6.9	7%	
女性医師数	62	85	118	56	90%	23	37%	33	39%	
人口10万対	17.2	24.9	37.6	20.4	119%	7.7	45%	12.7	51%	
病院勤務医師数	207	251	283	76	37%	44	21%	32	13%	
人口10万対	57.4	73.6	90.2	32.8	57%	16.2	28%	16.6	23%	
診療所勤務医師数	173	160	141	-32	-18%	-13	-8%	-19	-12%	
人口10万対	48.0	46.9	45.0	-3.0	-6%	-1.1	-2%	-2.0	-4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	56	57	5	10%	4	8%	1	2%
	35-49歳	109	103	131	22	20%	-6	-6%	28	27%
	50-64歳	136	121	95	-41	-30%	-15	-11%	-26	-21%
	65歳以上	83	139	163	80	96%	56	67%	24	17%
	75歳以上(再掲)	35	44	78	43	123%	9	26%	34	77%
男性	24-34歳	34	36	28	-6	-18%	2	6%	-8	-22%
	35-49歳	86	75	88	2	2%	-11	-13%	13	17%
	50-64歳	120	95	73	-47	-39%	-25	-21%	-22	-23%
	65歳以上	78	125	137	59	76%	47	60%	12	10%
	75歳以上(再掲)	35	41	71	36	103%	6	17%	30	73%
女性	24-34歳	18	19	30	12	67%	1	6%	11	58%
	35-49歳	23	27	42	19	83%	4	17%	15	56%
	50-64歳	16	28	27	11	69%	12	75%	-1	-4%
	65歳以上	5	11	19	14	280%	6	120%	8	73%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	48	51	52	4	8%	3	6%	1	2%
	35-49歳	64	73	90	26	41%	9	14%	17	23%
	50-64歳	63	62	56	-7	-11%	-1	-2%	-6	-10%
	65歳以上	32	65	85	53	166%	33	103%	20	31%
	75歳以上(再掲)	10	18	37	27	270%	8	80%	19	106%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	45	23	24	-21	-47%	-22	-49%	1	4%
	50-64歳	73	59	32	-41	-56%	-14	-19%	-27	-46%
	65歳以上	51	74	81	30	59%	23	45%	7	9%
	75歳以上(再掲)	25	25	42	17	68%	0	0%	17	68%
	85歳以上(再掲)	8	7	8	0	0%	-1	-13%	1	14%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿行医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,350人(2%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は23人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は90人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

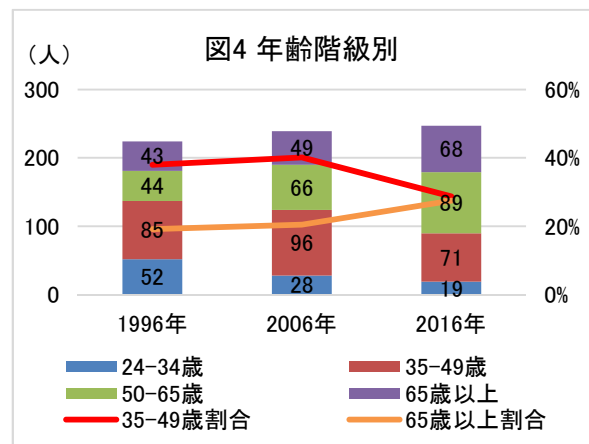
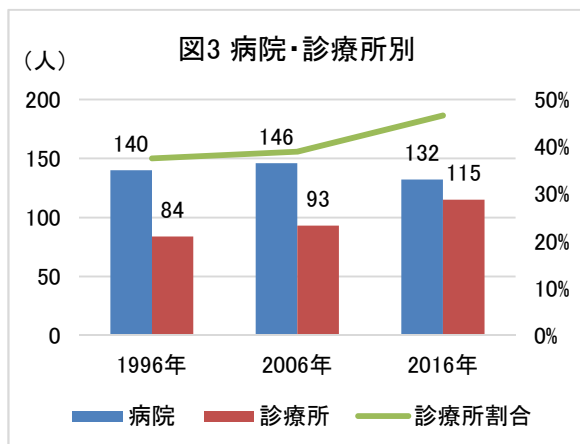
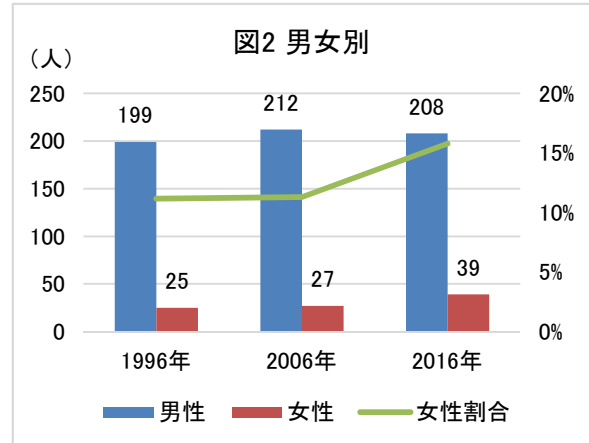
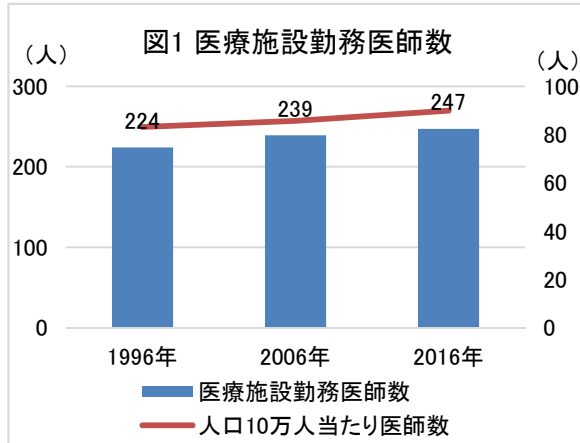
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(5%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に14人(56%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて8人(-6%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に31人(37%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は47%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は14人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて25人(58%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 鹿行医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	269,218	278,915	274,568	5,350	2%	9,697	4%	-4,347	-2%	
総医師数	228	252	262	34	15%	24	11%	10	4%	
人口10万対	84.7	90.4	95.4	10.7	13%	5.7	7%	5.1	6%	
医療施設勤務医師数	224	239	247	23	10%	15	7%	8	3%	
人口10万対	83.2	85.7	90.0	6.8	8%	2.5	3%	4.3	5%	
男性医師数	199	212	208	9	5%	13	7%	-4	-2%	
人口10万対	73.9	76.0	75.8	1.8	2%	2.1	3%	-0.3	0%	
女性医師数	25	27	39	14	56%	2	8%	12	44%	
人口10万対	9.3	9.7	14.2	4.9	53%	0.4	4%	4.5	47%	
病院勤務医師数	140	146	132	-8	-6%	6	4%	-14	-10%	
人口10万対	52.0	52.3	48.1	-3.9	-8%	0.3	1%	-4.3	-8%	
診療所勤務医師数	84	93	115	31	37%	9	11%	22	24%	
人口10万対	31.2	33.3	41.9	10.7	34%	2.1	7%	8.5	26%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.2	51.0	55.9	7.7	16%	2.8	6%	4.9	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	28	19	-33	-63%	-24	-46%	-9	-32%
	35-49歳	85	96	71	-14	-16%	11	13%	-25	-26%
	50-64歳	44	66	89	45	102%	22	50%	23	35%
	65歳以上	43	49	68	25	58%	6	14%	19	39%
	75歳以上(再掲)	13	18	23	10	77%	5	38%	5	28%
男性	24-34歳	43	20	12	-31	-72%	-23	-53%	-8	-40%
	35-49歳	75	81	55	-20	-27%	6	8%	-26	-32%
	50-64歳	43	63	77	34	79%	20	47%	14	22%
	65歳以上	38	48	64	26	68%	10	26%	16	33%
	75歳以上(再掲)	10	18	22	12	120%	8	80%	4	22%
女性	24-34歳	9	8	7	-2	-22%	-1	-11%	-1	-13%
	35-49歳	10	15	16	6	60%	5	50%	1	7%
	50-64歳	1	3	12	11	1100%	2	200%	9	300%
	65歳以上	5	1	4	-1	-20%	-4	-80%	3	300%
	75歳以上(再掲)	3	0	1	-2	-67%	-3	-100%	1	
病院	24-34歳	49	27	18	-31	-63%	-22	-45%	-9	-33%
	35-49歳	58	74	48	-10	-17%	16	28%	-26	-35%
	50-64歳	19	28	45	26	137%	9	47%	17	61%
	65歳以上	14	17	21	7	50%	3	21%	4	24%
	75歳以上(再掲)	6	4	7	1	17%	-2	-33%	3	75%
診療所	24-34歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	35-49歳	27	22	23	-4	-15%	-5	-19%	1	5%
	50-64歳	25	38	44	19	76%	13	52%	6	16%
	65歳以上	29	32	47	18	62%	3	10%	15	47%
	75歳以上(再掲)	7	14	16	9	129%	7	100%	2	14%
	85歳以上(再掲)	0	2	4	4		2		2	100%

## 鹿行医療圏

## ＜医師数の推移＞

鹿行医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、整形外科、耳鼻咽喉科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	224	83.2	38	239	85.7	35	247	90.0	33	23	10%	6.8	8%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	100	37.1	39	106	38.0	36	114	41.5	35	14	14%	4.4	12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	3.7	34	9	3.2	31	12	4.4	34	2	20%	0.7	18%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	2.6	36	6	2.2	33	7	2.5	32	0	0%	-0.1	-2%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	27	10.0	38	30	10.8	39	26	9.5	37	-1	-4%	-0.6	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	0.4	46	1		0.4	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	1	0.4	38	1		0.4	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	1.9	40	5	1.8	37	8	2.9	39	3	60%	1.1	57%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	26	9.7	43	23	8.2	36	17	6.2	30	-9	-35%	-3.5	-36%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	3	1.1	44	3		1.1	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	1.9	40	5	1.8	37	5	1.8	35	0	0%	-0.0	-2%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	11	4.1	40	11	3.9	36	14	5.1	37	3	27%	1.0	25%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	2.6	37	6	2.2	35	4	1.5	31	-3	-43%	-1.1	-44%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	1.5	38	6	2.2	38	6	2.2	37	2	50%	0.7	47%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	15	5.6	40	14	5.0	39	15	5.5	39	0	0%	-0.1	-2%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	2	0.7	44	1	0.4	40	1		0.4	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	1.1	43	2	0.7	40	2	0.7	38	-1	-33%	-0.4	-35%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	1.1	41	2	0.7	38	6	2.2	39	3	100%	1.1	96%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	1	0.4	40	0	0%	0.0	2%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				7	2.5	40	0	0.0	36	0	-100%	-2.5	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.4	41	3	1.1	42	4	1.5	40	3	300%	1.1	292%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 鹿行医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は35,005人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-6%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は97人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

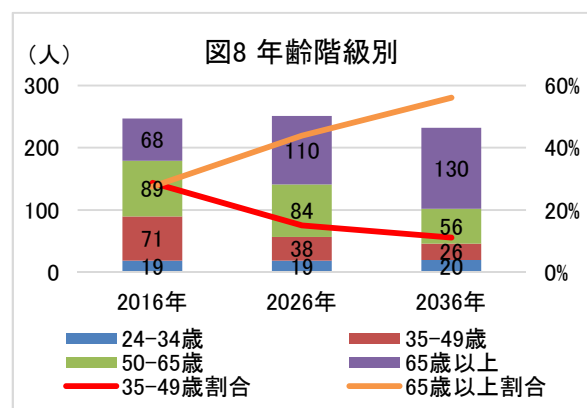
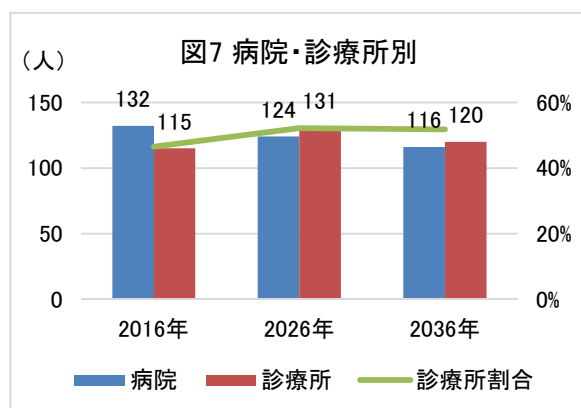
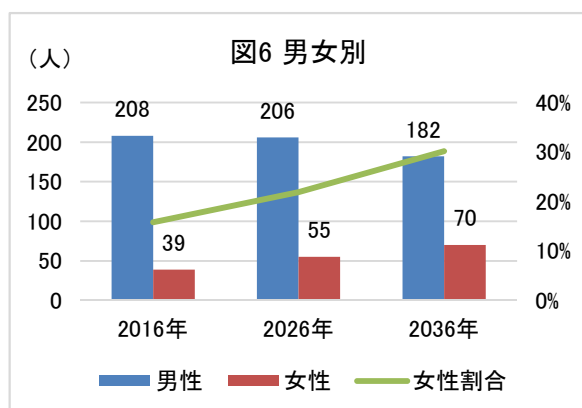
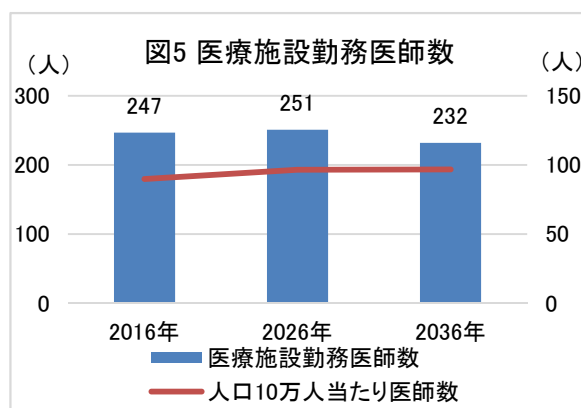
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて26人(-13%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に31人(79%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて16人(-12%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(4%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は52%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は45人(-63%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて62人(91%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年28%、2036年56%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



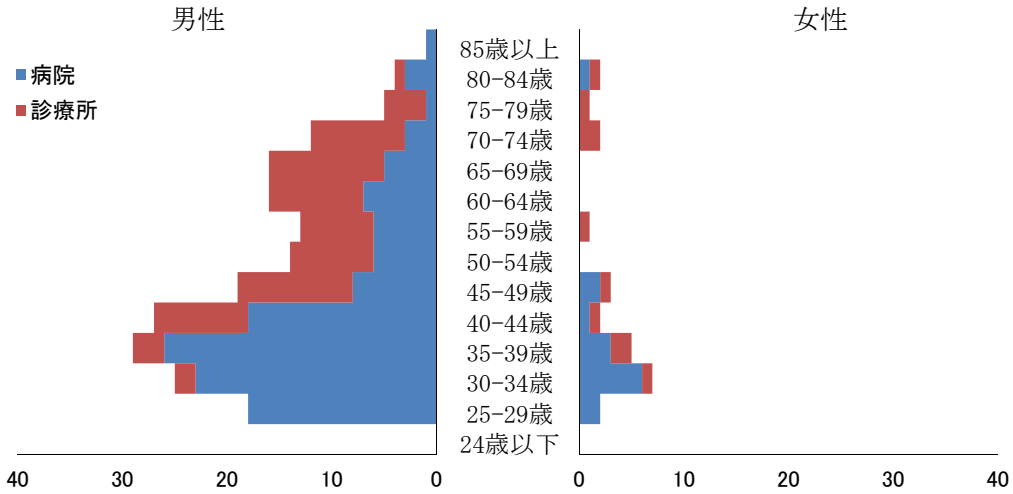
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鹿行医療圏

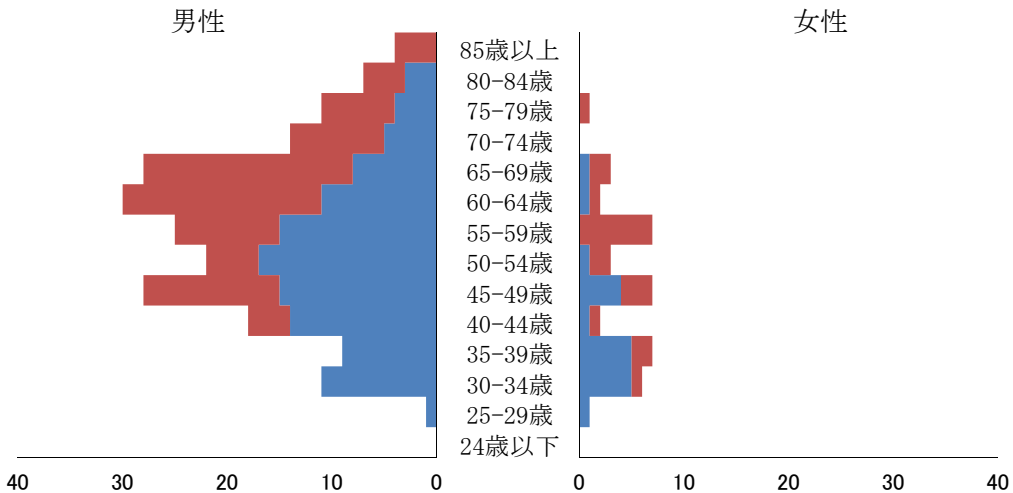
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

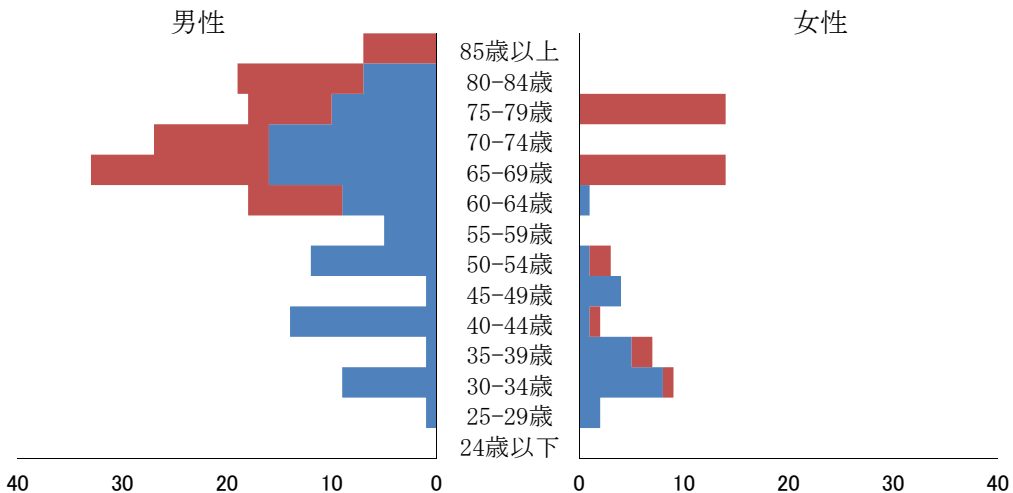
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 鹿行医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	274,568	259,918	239,563	-35,005	-13%	-14,650	-5%	-20,355	-8%	
医療施設勤務医師数	247	251	232	-15	-6%	4	2%	-19	-8%	
人口10万対	90.0	96.6	96.8	6.9	8%	6.6	7%	0.3	0%	
男性医師数	208	206	182	-26	-13%	-2	-1%	-24	-12%	
人口10万対	75.8	79.3	76.0	0.2	0%	3.5	5%	-3.3	-4%	
女性医師数	39	55	70	31	79%	16	41%	15	27%	
人口10万対	14.2	21.2	29.2	15.0	106%	7.0	49%	8.1	38%	
病院勤務医師数	132	124	116	-16	-12%	-8	-6%	-8	-6%	
人口10万対	48.1	47.7	48.4	0.3	1%	-0.4	-1%	0.7	1%	
診療所勤務医師数	115	131	120	5	4%	16	14%	-11	-8%	
人口10万対	41.9	50.4	50.1	8.2	20%	8.5	20%	-0.3	-1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	19	19	20	1	5%	0	0%	1	5%
	35-49歳	71	38	26	-45	-63%	-33	-46%	-12	-32%
	50-64歳	89	84	56	-33	-37%	-5	-6%	-28	-33%
	65歳以上	68	110	130	62	91%	42	62%	20	18%
	75歳以上(再掲)	23	34	53	30	130%	11	48%	19	56%
男性	24-34歳	12	12	10	-2	-17%	0	0%	-2	-17%
	35-49歳	55	27	20	-35	-64%	-28	-51%	-7	-26%
	50-64歳	77	71	44	-33	-43%	-6	-8%	-27	-38%
	65歳以上	64	96	108	44	69%	32	50%	12	13%
	75歳以上(再掲)	22	31	45	23	105%	9	41%	14	45%
女性	24-34歳	7	7	12	5	71%	0	0%	5	71%
	35-49歳	16	19	20	4	25%	3	19%	1	5%
	50-64歳	12	15	18	6	50%	3	25%	3	20%
	65歳以上	4	14	20	16	400%	10	250%	6	43%
	75歳以上(再掲)	1	3	11	10	1000%	2	200%	8	267%
病院	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	48	25	19	-29	-60%	-23	-48%	-6	-24%
	50-64歳	45	41	28	-17	-38%	-4	-9%	-13	-32%
	65歳以上	21	40	50	29	138%	19	90%	10	25%
	75歳以上(再掲)	7	8	18	11	157%	1	14%	10	125%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	23	12	12	-11	-48%	-11	-48%	0	0%
	50-64歳	44	45	28	-16	-36%	1	2%	-17	-38%
	65歳以上	47	73	79	32	68%	26	55%	6	8%
	75歳以上(再掲)	16	28	36	20	125%	12	75%	8	29%
	85歳以上(再掲)	4	5	8	4	100%	1	25%	3	60%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 土浦医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は11,577人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は153人(39%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は211人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

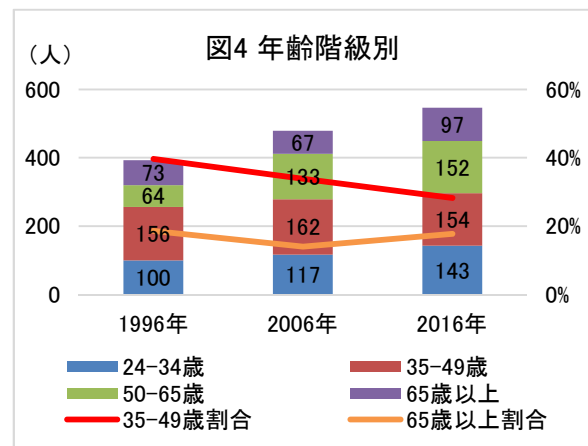
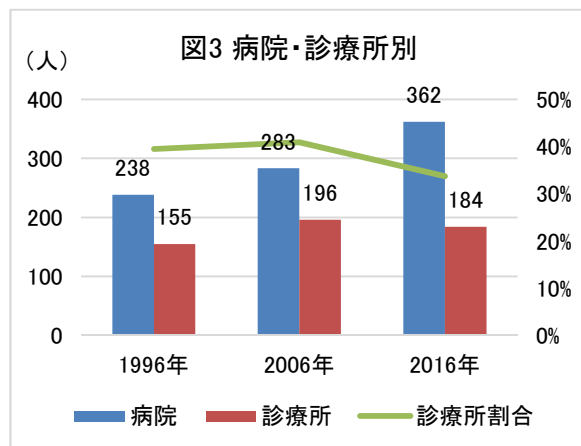
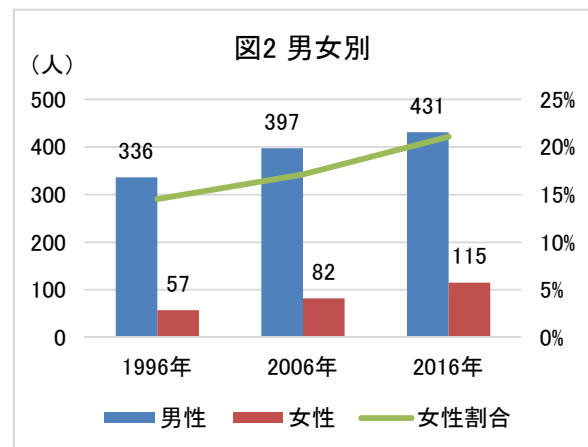
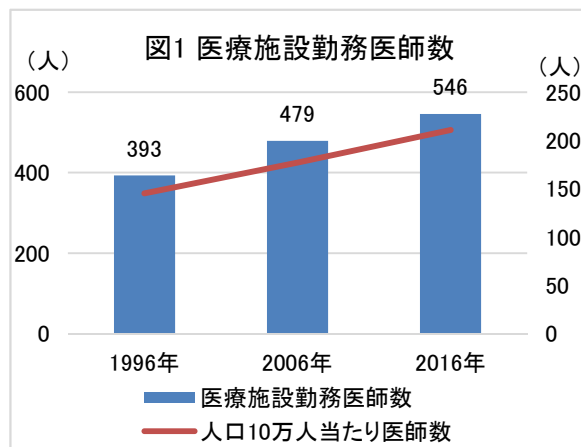
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて95人(28%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に58人(102%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて124人(52%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に29人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(-1%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて24人(33%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 土浦医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	270,548	270,550	258,971	-11,577	-4%	2	0%	-11,579	-4%	
総医師数	399	493	563	164	41%	94	24%	70	14%	
人口10万対	147.5	182.2	217.4	69.9	47%	34.7	24%	35.2	19%	
医療施設勤務医師数	393	479	546	153	39%	86	22%	67	14%	
人口10万対	145.3	177.0	210.8	65.6	45%	31.8	22%	33.8	19%	
男性医師数	336	397	431	95	28%	61	18%	34	9%	
人口10万対	124.2	146.7	166.4	42.2	34%	22.5	18%	19.7	13%	
女性医師数	57	82	115	58	102%	25	44%	33	40%	
人口10万対	21.1	30.3	44.4	23.3	111%	9.2	44%	14.1	47%	
病院勤務医師数	238	283	362	124	52%	45	19%	79	28%	
人口10万対	88.0	104.6	139.8	51.8	59%	16.6	19%	35.2	34%	
診療所勤務医師数	155	196	184	29	19%	41	26%	-12	-6%	
人口10万対	57.3	72.4	71.1	13.8	24%	15.2	26%	-1.4	-2%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.6	47.8	48.6	0.9	2%	0.1	0%	0.8	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	100	117	143	43	43%	17	17%	26	22%
	35-49歳	156	162	154	-2	-1%	6	4%	-8	-5%
	50-64歳	64	133	152	88	138%	69	108%	19	14%
	65歳以上	73	67	97	24	33%	-6	-8%	30	45%
	75歳以上(再掲)	30	31	28	-2	-7%	1	3%	-3	-10%
男性	24-34歳	79	89	102	23	29%	10	13%	13	15%
	35-49歳	139	135	118	-21	-15%	-4	-3%	-17	-13%
	50-64歳	55	117	128	73	133%	62	113%	11	9%
	65歳以上	63	56	83	20	32%	-7	-11%	27	48%
	75歳以上(再掲)	24	26	24	0	0%	2	8%	-2	-8%
女性	24-34歳	21	28	41	20	95%	7	33%	13	46%
	35-49歳	17	27	36	19	112%	10	59%	9	33%
	50-64歳	9	16	24	15	167%	7	78%	8	50%
	65歳以上	10	11	14	4	40%	1	10%	3	27%
	75歳以上(再掲)	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
病院	24-34歳	96	116	141	45	47%	20	21%	25	22%
	35-49歳	102	96	129	27	26%	-6	-6%	33	34%
	50-64歳	23	55	64	41	178%	32	139%	9	16%
	65歳以上	17	16	28	11	65%	-1	-6%	12	75%
	75歳以上(再掲)	7	8	5	-2	-29%	1	14%	-3	-38%
診療所	24-34歳	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
	35-49歳	54	66	25	-29	-54%	12	22%	-41	-62%
	50-64歳	41	78	88	47	115%	37	90%	10	13%
	65歳以上	56	51	69	13	23%	-5	-9%	18	35%
	75歳以上(再掲)	23	23	23	0	0%	0	0%	0	0%
	85歳以上(再掲)	7	3	5	-2	-29%	-4	-57%	2	67%

## 土浦医療圏

## ＜医師数の推移＞

土浦医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科、臨床研修医であり、少ない診療科は、外科(総数)、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、整形外科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	393	145.3	45	479	177.0	46	546	210.8	47	153	39%	65.6	45%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	150	55.4	44	165	61.0	44	200	77.2	46	50	33%	21.8	39%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	31	11.5	51	38	14.0	56	37	14.3	52	6	19%	2.8	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	22	8.1	50	30	11.1	53	28	10.8	47	6	27%	2.7	33%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	39	14.4	43	28	10.3	39	36	13.9	43	-3	-8%	-0.5	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	3	1.2	58	3		1.2	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	1.8	52	3	1.1	45	6	2.3	49	1	20%	0.5	25%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	9	3.3	45	11	4.1	46	13	5.0	47	4	44%	1.7	51%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	38	14.0	52	33	12.2	45	37	14.3	45	-1	-3%	0.2	2%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	3	1.2	44	3		1.2	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	15	5.5	50	21	7.8	55	18	7.0	49	3	20%	1.4	25%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	18	6.7	46	24	8.9	48	23	8.9	46	5	28%	2.2	33%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	16	5.9	47	18	6.7	49	18	7.0	49	2	13%	1.0	18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	2.6	43	7	2.6	40	6	2.3	37	-1	-14%	-0.3	-10%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	28	10.3	51	29	10.7	54	26	10.0	49	-2	-7%	-0.3	-3%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	3	1.1	47	2	0.8	42	2		0.8	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	1.1	43	3	1.1	41	7	2.7	43	4	133%	1.6	144%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	9	3.3	48	9	3.3	45	16	6.2	48	7	78%	2.9	86%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	3	1.2	43	3		1.2	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				39	14.4	54	50	19.3	57	50	28%	4.9	34%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.1	43	17	6.3	52	14	5.4	47	11	367%	4.3	388%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 土浦医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は37,233人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は113人(21%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は297人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

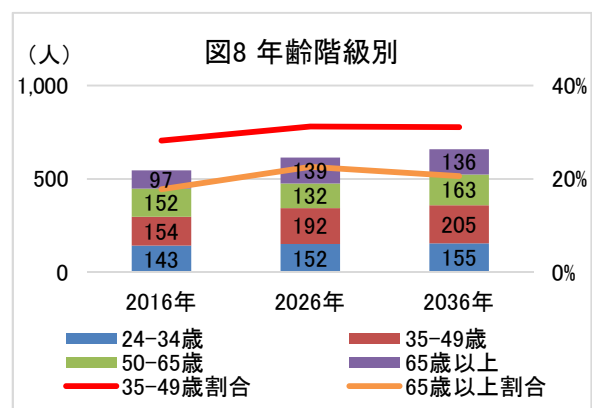
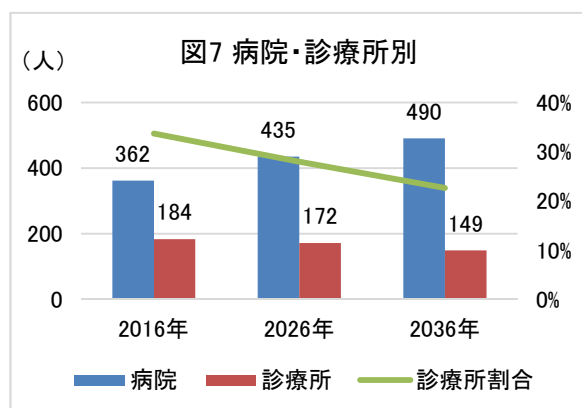
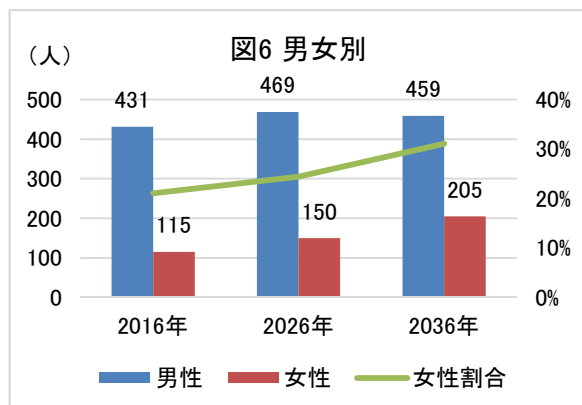
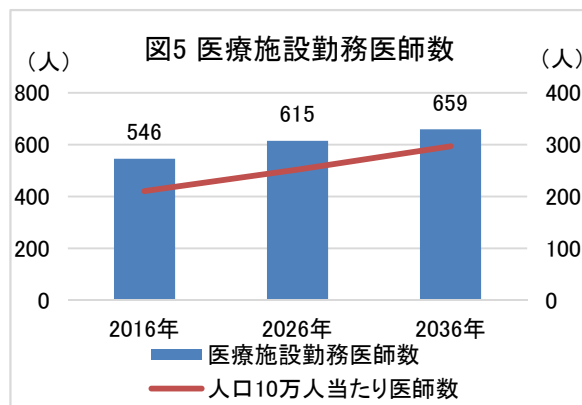
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて28人(6%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に90人(78%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて128人(35%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(-19%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は51人(33%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて39人(40%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



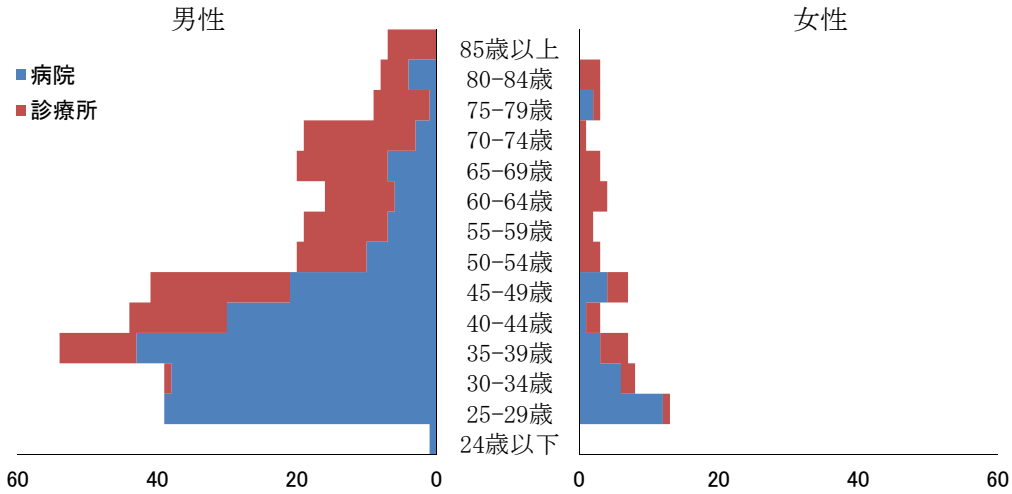
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

土浦医療圏

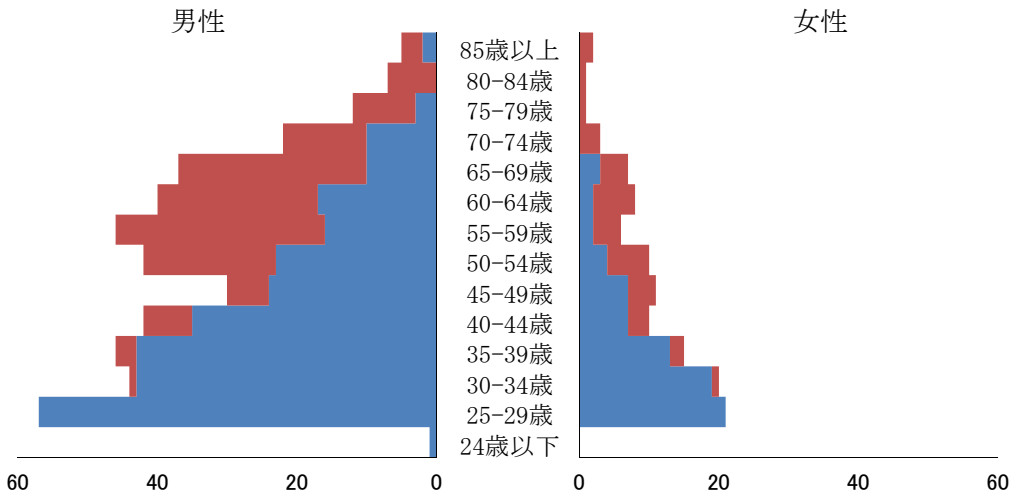
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

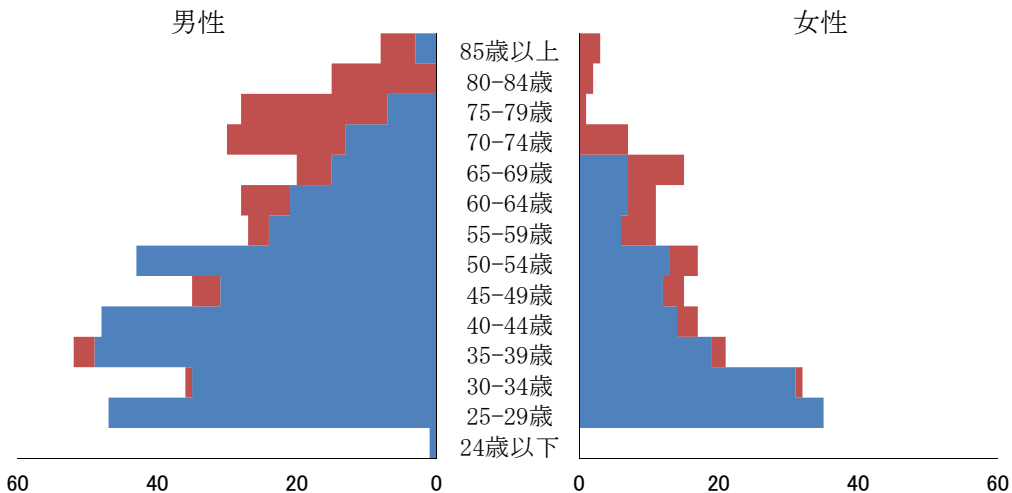
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 土浦医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	258,971	244,151	221,738	-37,233	-14%	-14,820	-6%	-22,413	-9%	
医療施設勤務医師数	546	615	659	113	21%	69	13%	44	7%	
人口10万対	210.8	251.9	297.2	86.4	41%	41.1	19%	45.3	18%	
男性医師数	431	469	459	28	6%	38	9%	-10	-2%	
人口10万対	166.4	192.1	207.0	40.6	24%	25.7	15%	14.9	8%	
女性医師数	115	150	205	90	78%	35	30%	55	37%	
人口10万対	44.4	61.4	92.5	48.0	108%	17.0	38%	31.0	50%	
病院勤務医師数	362	435	490	128	35%	73	20%	55	13%	
人口10万対	139.8	178.2	221.0	81.2	58%	38.4	27%	42.8	24%	
診療所勤務医師数	184	172	149	-35	-19%	-12	-7%	-23	-13%	
人口10万対	71.1	70.4	67.2	-3.9	-5%	-0.6	-1%	-3.3	-5%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	143	152	155	12	8%	9	6%	3	2%
	35-49歳	154	192	205	51	33%	38	25%	13	7%
	50-64歳	152	132	163	11	7%	-20	-13%	31	23%
	65歳以上	97	139	136	39	40%	42	43%	-3	-2%
	75歳以上(再掲)	28	48	63	35	125%	20	71%	15	31%
男性	24-34歳	102	108	84	-18	-18%	6	6%	-24	-22%
	35-49歳	118	141	148	30	25%	23	19%	7	5%
	50-64歳	128	101	118	-10	-8%	-27	-21%	17	17%
	65歳以上	83	119	109	26	31%	36	43%	-10	-8%
	75歳以上(再掲)	24	43	56	32	133%	19	79%	13	30%
女性	24-34歳	41	44	67	26	63%	3	7%	23	52%
	35-49歳	36	51	57	21	58%	15	42%	6	12%
	50-64歳	24	35	48	24	100%	11	46%	13	37%
	65歳以上	14	20	33	19	136%	6	43%	13	65%
	75歳以上(再掲)	4	5	7	3	75%	1	25%	2	40%
病院	24-34歳	141	150	153	12	9%	9	6%	3	2%
	35-49歳	129	163	174	45	35%	34	26%	11	7%
	50-64歳	64	81	116	52	81%	17	27%	35	43%
	65歳以上	28	41	47	19	68%	13	46%	6	15%
	75歳以上(再掲)	5	9	11	6	120%	4	80%	2	22%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	25	31	32	7	28%	6	24%	1	3%
	50-64歳	88	45	37	-51	-58%	-43	-49%	-8	-18%
	65歳以上	69	94	78	9	13%	25	36%	-16	-17%
	75歳以上(再掲)	23	35	46	23	100%	12	52%	11	31%
	85歳以上(再掲)	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## つくば医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は48,731人(17%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は576人(80%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は384人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は54%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

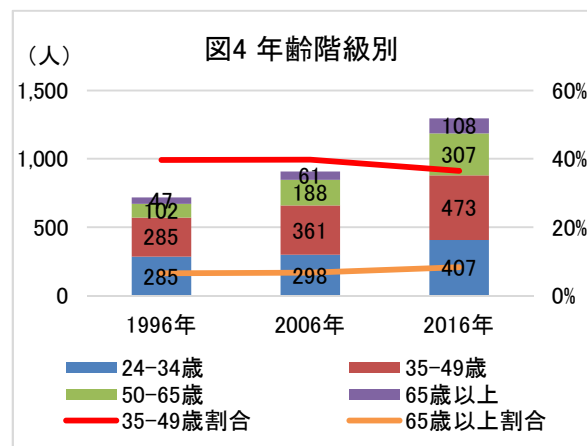
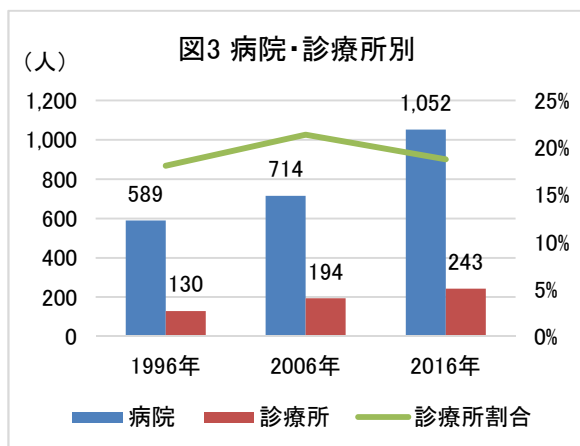
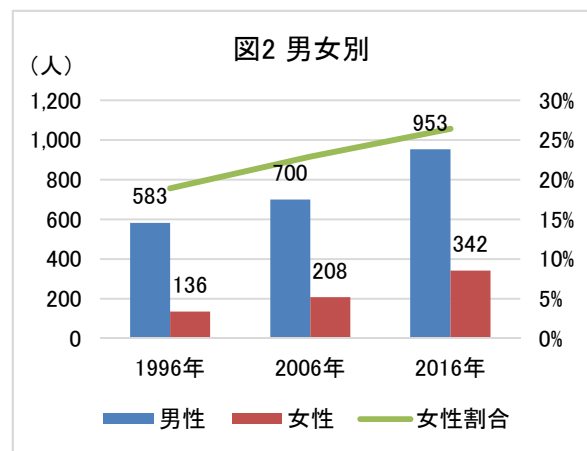
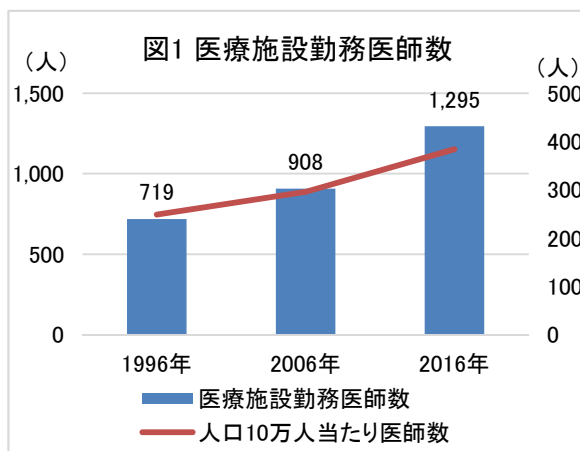
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて370人(63%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に206人(151%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は26%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて463人(79%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に113人(87%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は19%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は188人(66%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて61人(130%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年7%、2016年8%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。



## つくば医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	288,851	307,238	337,582	48,731	17%	18,387	6%	30,344	10%	
総医師数	809	1,012	1,400	591	73%	203	25%	388	38%	
人口10万対	280.1	329.4	414.7	134.6	48%	49.3	18%	85.3	26%	
医療施設勤務医師数	719	908	1,295	576	80%	189	26%	387	43%	
人口10万対	248.9	295.5	383.6	134.7	54%	46.6	19%	88.1	30%	
男性医師数	583	700	953	370	63%	117	20%	253	36%	
人口10万対	201.8	227.8	282.3	80.5	40%	26.0	13%	54.5	24%	
女性医師数	136	208	342	206	151%	72	53%	134	64%	
人口10万対	47.1	67.7	101.3	54.2	115%	20.6	44%	33.6	50%	
病院勤務医師数	589	714	1,052	463	79%	125	21%	338	47%	
人口10万対	203.9	232.4	311.6	107.7	53%	28.5	14%	79.2	34%	
診療所勤務医師数	130	194	243	113	87%	64	49%	49	25%	
人口10万対	45.0	63.1	72.0	27.0	60%	18.1	40%	8.8	14%	
医療施設勤務医 平均年齢	40.8	43.2	44.2	3.4	8%	2.4	6%	1.0	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	285	298	407	122	43%	13	5%	109	37%
	35-49歳	285	361	473	188	66%	76	27%	112	31%
	50-64歳	102	188	307	205	201%	86	84%	119	63%
	65歳以上	47	61	108	61	130%	14	30%	47	77%
	75歳以上(再掲)	16	23	22	6	38%	7	44%	-1	-4%
男性	24-34歳	208	202	269	61	29%	-6	-3%	67	33%
	35-49歳	246	280	345	99	40%	34	14%	65	23%
	50-64歳	90	163	252	162	180%	73	81%	89	55%
	65歳以上	39	55	87	48	123%	16	41%	32	58%
	75歳以上(再掲)	12	21	20	8	67%	9	75%	-1	-5%
女性	24-34歳	77	96	138	61	79%	19	25%	42	44%
	35-49歳	39	81	128	89	228%	42	108%	47	58%
	50-64歳	12	25	55	43	358%	13	108%	30	120%
	65歳以上	8	6	21	13	163%	-2	-25%	15	250%
	75歳以上(再掲)	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
病院	24-34歳	284	295	403	119	42%	11	4%	108	37%
	35-49歳	228	308	416	188	82%	80	35%	108	35%
	50-64歳	69	95	201	132	191%	26	38%	106	112%
	65歳以上	8	16	32	24	300%	8	100%	16	100%
	75歳以上(再掲)	2	2	6	4	200%	0	0%	4	200%
診療所	24-34歳	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
	35-49歳	57	53	57	0	0%	-4	-7%	4	8%
	50-64歳	33	93	106	73	221%	60	182%	13	14%
	65歳以上	39	45	76	37	95%	6	15%	31	69%
	75歳以上(再掲)	14	21	16	2	14%	7	50%	-5	-24%
	85歳以上(再掲)	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%



## つくば医療圏

## ＜医師数の推移＞

つくば医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児外科、形成外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	719	248.9	58	908	295.5	61	1,295	383.6	66	576	80%	134.7	54%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	299	103.5	58	321	104.5	59	410	121.5	60	111	37%	17.9	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	35	12.1	53	44	14.3	56	70	20.7	64	35	100%	8.6	71%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	23	8.0	50	26	8.5	47	46	13.6	52	23	100%	5.7	71%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	58	20.1	49	68	22.1	56	98	29.0	64	40	69%	9.0	45%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	15	5.2	125	9	2.9	92	14	4.1	103	-1	-7%	-1.0	-20%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	13	4.5	70	11	3.6	59	24	7.1	76	11	85%	2.6	58%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	28	9.7	71	27	8.8	67	37	11.0	70	9	32%	1.3	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	43	14.9	54	60	19.5	60	86	25.5	67	43	100%	10.6	71%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	12	4.2	77	8	2.6	58	8	2.4	52	-4	-33%	-1.8	-43%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	18	6.2	52	21	6.8	52	33	9.8	57	15	83%	3.5	57%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	31	10.7	54	35	11.4	54	54	16.0	64	23	74%	5.3	49%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	24	8.3	54	26	8.5	55	29	8.6	54	5	21%	0.3	3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	16	5.5	56	21	6.8	59	31	9.2	64	15	94%	3.6	66%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	32	11.1	53	38	12.4	58	51	15.1	60	19	59%	4.0	36%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.3	45	4	1.3	49	10	3.0	56	9	900%	2.6	756%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	29	10.0	72	30	9.8	70	46	13.6	73	17	59%	3.6	36%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	31	10.7	70	32	10.4	67	49	14.5	66	18	58%	3.8	35%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				8	2.6	59	17	5.0	62	9	113%	2.4	93%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				77	25.1	66	122	36.1	75	122	58%	11.1	44%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	11	3.8	49	42	13.7	67	60	17.8	68	49	445%	14.0	367%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## つくば医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は8,702人(-3%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は731人(56%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は616人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は61%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

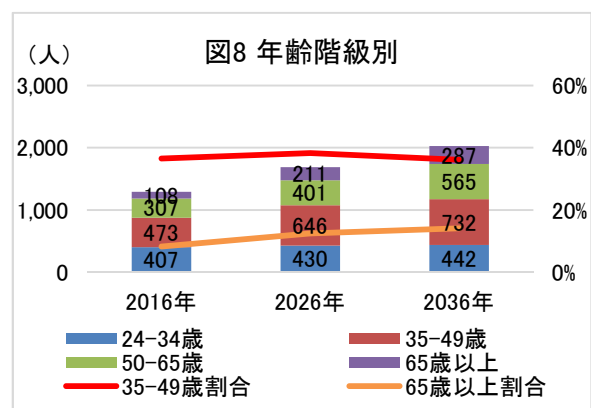
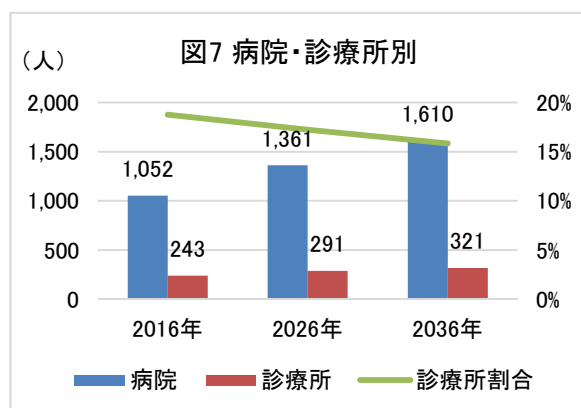
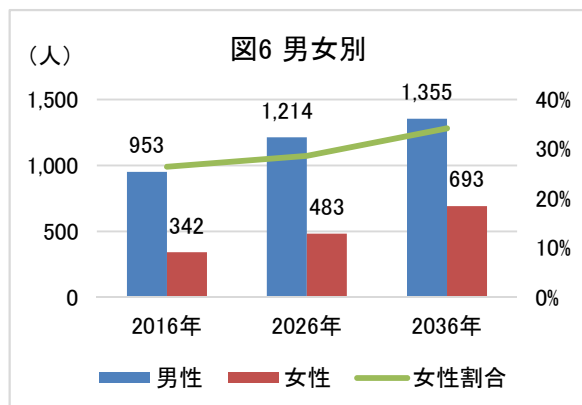
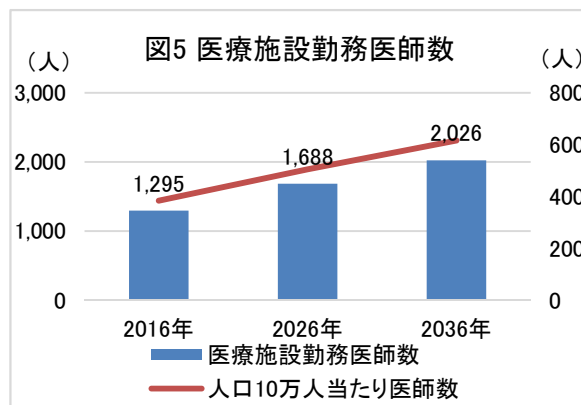
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて402人(42%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に351人(103%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は34%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて558人(53%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に78人(32%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は16%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は259人(55%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて179人(166%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年8%、2036年14%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



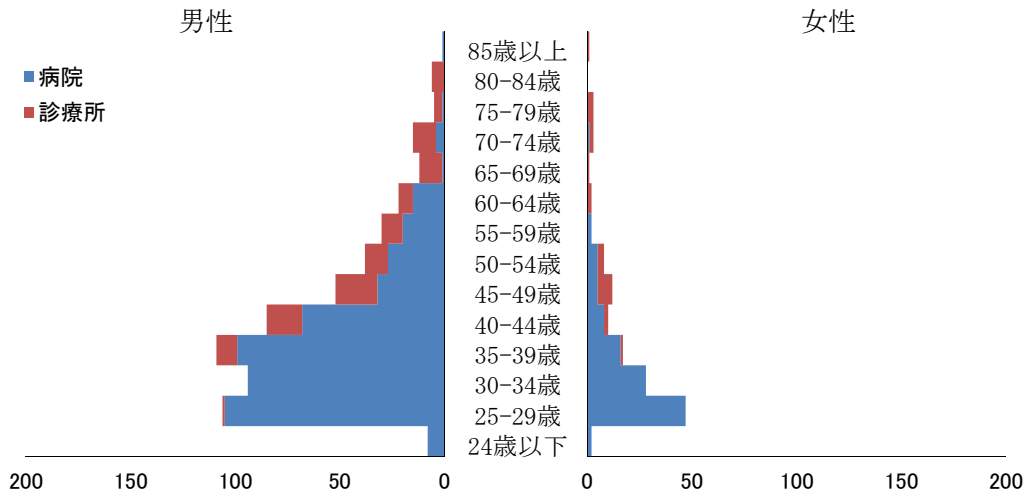
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## つくば医療圏

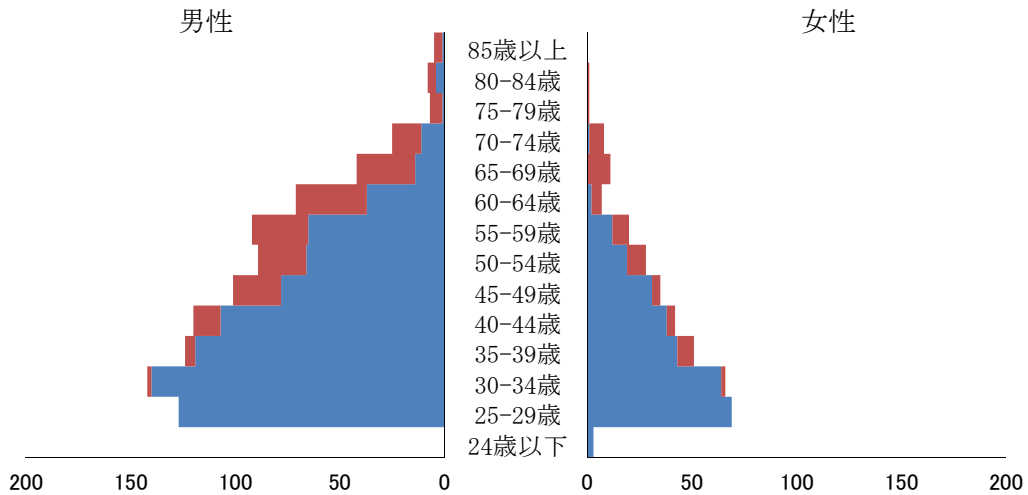
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

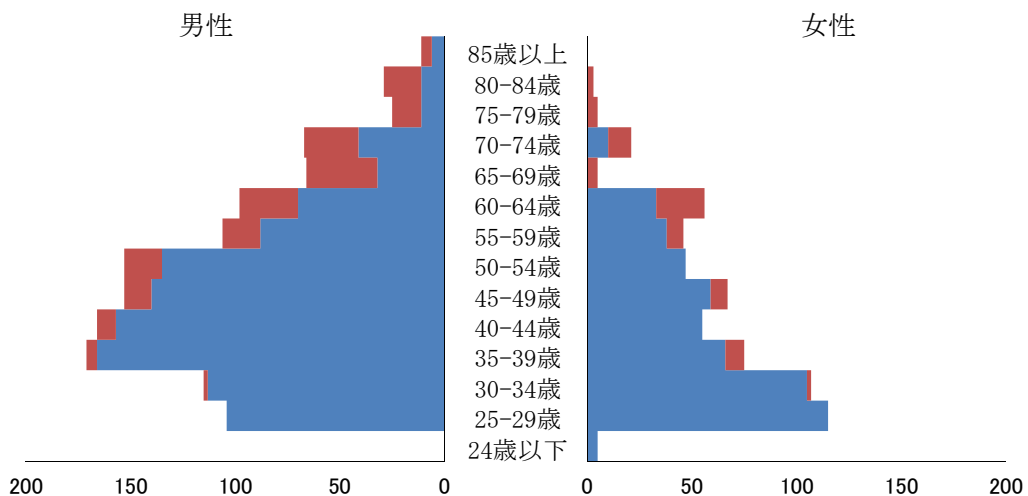
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## つくば医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	337,582	334,161	328,880	-8,702	-3%	-3,421	-1%	-5,281	-2%	
医療施設勤務医師数	1,295	1,688	2,026	731	56%	393	30%	338	20%	
人口10万対	383.6	505.1	616.0	232.4	61%	121.5	32%	110.9	22%	
男性医師数	953	1,214	1,355	402	42%	261	27%	141	12%	
人口10万対	282.3	363.3	412.0	129.7	46%	81.0	29%	48.7	13%	
女性医師数	342	483	693	351	103%	141	41%	210	43%	
人口10万対	101.3	144.5	210.7	109.4	108%	43.2	43%	66.2	46%	
病院勤務医師数	1,052	1,361	1,610	558	53%	309	29%	249	18%	
人口10万対	311.6	407.3	489.5	177.9	57%	95.7	31%	82.3	20%	
診療所勤務医師数	243	291	321	78	32%	48	20%	30	10%	
人口10万対	72.0	87.1	97.6	25.6	36%	15.1	21%	10.5	12%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	407	430	442	35	9%	23	6%	12	3%
	35-49歳	473	646	732	259	55%	173	37%	86	13%
	50-64歳	307	401	565	258	84%	94	31%	164	41%
	65歳以上	108	211	287	179	166%	103	95%	76	36%
	75歳以上(再掲)	22	44	86	64	291%	22	100%	42	95%
男性	24-34歳	269	284	219	-50	-19%	15	6%	-65	-23%
	35-49歳	345	461	517	172	50%	116	34%	56	12%
	50-64歳	252	293	404	152	60%	41	16%	111	38%
	65歳以上	87	176	215	128	147%	89	102%	39	22%
	75歳以上(再掲)	20	36	70	50	250%	16	80%	34	94%
女性	24-34歳	138	146	226	88	64%	8	6%	80	55%
	35-49歳	128	184	211	83	65%	56	44%	27	15%
	50-64歳	55	115	176	121	220%	60	109%	61	53%
	65歳以上	21	38	80	59	281%	17	81%	42	111%
	75歳以上(再掲)	2	10	14	12	600%	8	400%	4	40%
病院	24-34歳	403	426	438	35	9%	23	6%	12	3%
	35-49歳	416	573	646	230	55%	157	38%	73	13%
	50-64歳	201	280	400	199	99%	79	39%	120	43%
	65歳以上	32	82	126	94	294%	50	156%	44	54%
	75歳以上(再掲)	6	12	30	24	400%	6	100%	18	150%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	57	63	64	7	12%	6	11%	1	2%
	50-64歳	106	111	135	29	27%	5	5%	24	22%
	65歳以上	76	113	118	42	55%	37	49%	5	4%
	75歳以上(再掲)	16	34	45	29	181%	18	113%	11	32%
	85歳以上(再掲)	4	3	6	2	50%	-1	-25%	3	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 取手・竜ヶ崎医療圏

### ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は19,047人（4%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は191人（34%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は162人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

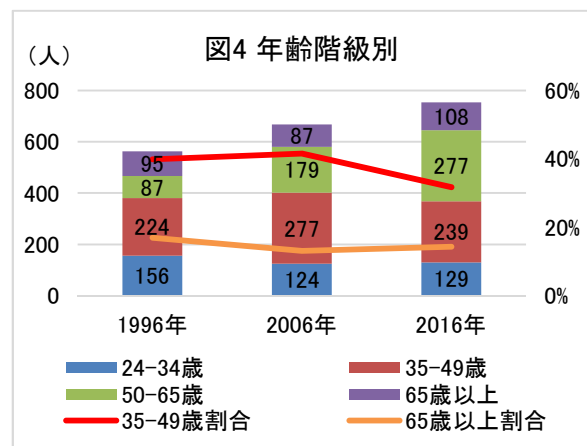
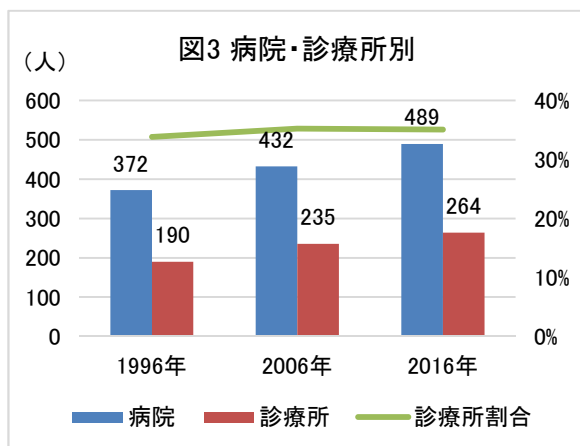
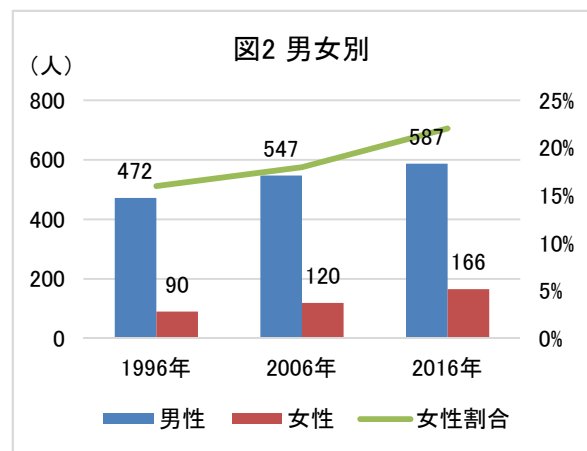
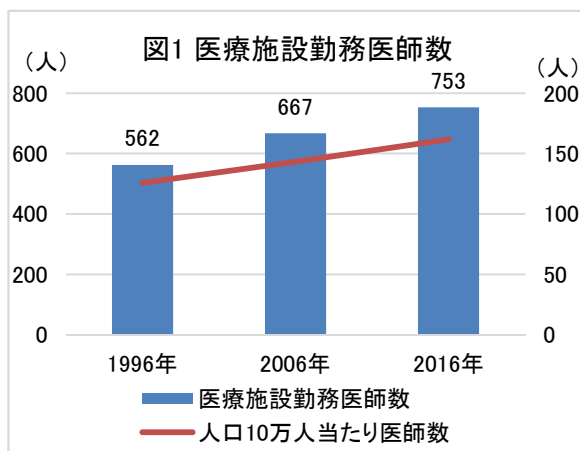
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて115人（24%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。女性医師は、同期間に76人（84%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は22%と、全国平均（21%）を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて117人（31%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に74人（39%）増え、全国平均（25%）を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は15人（7%）増え、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて13人（14%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年14%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 取手・竜ヶ崎医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	446,603	465,984	465,650	19,047	4%	19,381	4%	-334	0%	
総医師数	578	689	796	218	38%	111	19%	107	16%	
人口10万対	129.4	147.9	170.9	41.5	32%	18.4	14%	23.1	16%	
医療施設勤務医師数	562	667	753	191	34%	105	19%	86	13%	
人口10万対	125.8	143.1	161.7	35.9	29%	17.3	14%	18.6	13%	
男性医師数	472	547	587	115	24%	75	16%	40	7%	
人口10万対	105.7	117.4	126.1	20.4	19%	11.7	11%	8.7	7%	
女性医師数	90	120	166	76	84%	30	33%	46	38%	
人口10万対	20.2	25.8	35.6	15.5	77%	5.6	28%	9.9	38%	
病院勤務医師数	372	432	489	117	31%	60	16%	57	13%	
人口10万対	83.3	92.7	105.0	21.7	26%	9.4	11%	12.3	13%	
診療所勤務医師数	190	235	264	74	39%	45	24%	29	12%	
人口10万対	42.5	50.4	56.7	14.2	33%	7.9	19%	6.3	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.1	48.1	50.3	4.2	9%	2.0	4%	2.2	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	156	124	129	-27	-17%	-32	-21%	5	4%
	35-49歳	224	277	239	15	7%	53	24%	-38	-14%
	50-64歳	87	179	277	190	218%	92	106%	98	55%
	65歳以上	95	87	108	13	14%	-8	-8%	21	24%
	75歳以上(再掲)	22	47	28	6	27%	25	114%	-19	-40%
男性	24-34歳	125	91	88	-37	-30%	-34	-27%	-3	-3%
	35-49歳	192	228	176	-16	-8%	36	19%	-52	-23%
	50-64歳	77	156	227	150	195%	79	103%	71	46%
	65歳以上	78	72	96	18	23%	-6	-8%	24	33%
	75歳以上(再掲)	15	34	22	7	47%	19	127%	-12	-35%
女性	24-34歳	31	33	41	10	32%	2	6%	8	24%
	35-49歳	32	49	63	31	97%	17	53%	14	29%
	50-64歳	10	23	50	40	400%	13	130%	27	117%
	65歳以上	17	15	12	-5	-29%	-2	-12%	-3	-20%
	75歳以上(再掲)	7	13	6	-1	-14%	6	86%	-7	-54%
病院	24-34歳	146	119	128	-18	-12%	-27	-18%	9	8%
	35-49歳	156	199	176	20	13%	43	28%	-23	-12%
	50-64歳	44	84	145	101	230%	40	91%	61	73%
	65歳以上	26	30	40	14	54%	4	15%	10	33%
	75歳以上(再掲)	7	14	10	3	43%	7	100%	-4	-29%
診療所	24-34歳	10	5	1	-9	-90%	-5	-50%	-4	-80%
	35-49歳	68	78	63	-5	-7%	10	15%	-15	-19%
	50-64歳	43	95	132	89	207%	52	121%	37	39%
	65歳以上	69	57	68	-1	-1%	-12	-17%	11	19%
	75歳以上(再掲)	15	33	18	3	20%	18	120%	-15	-45%
	85歳以上(再掲)	2	3	4	2	100%	1	50%	1	33%



## 取手・竜ヶ崎医療圏

### ＜医師数の推移＞

取手・竜ヶ崎医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、心臓血管外科、麻酔科、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	562	125.8	43	667	143.1	42	753	161.7	41	191	34%	35.9	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	234	52.4	43	251	53.9	41	300	64.4	42	66	28%	12.0	23%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	31	6.9	41	32	6.9	40	34	7.3	39	3	10%	0.4	5%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	28	6.3	46	29	6.2	42	36	7.7	42	8	29%	1.5	23%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	51	11.4	40	53	11.4	40	54	11.6	40	3	6%	0.2	2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	0.7	44	3	0.6	42	2	0.4	39	-1	-33%	-0.2	-36%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	17	3.8	47	20	4.3	47	27	5.8	50	10	59%	2.0	52%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	43	9.6	43	55	11.8	44	53	11.4	40	10	23%	1.8	18%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.4	45	4	0.9	45	4	0.9	42	2	100%	0.4	92%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	18	4.0	46	22	4.7	46	30	6.4	48	12	67%	2.4	60%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	29	6.5	45	34	7.3	44	38	8.2	45	9	31%	1.7	26%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	4.7	43	25	5.4	45	25	5.4	44	4	19%	0.7	14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	11	2.5	43	16	3.4	44	17	3.7	42	6	55%	1.2	48%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	28	6.3	42	32	6.9	44	44	9.4	48	16	57%	3.2	51%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	1.1	55	10	2.1	56	10	2.1	51	5	100%	1.0	92%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	1.3	43	8	1.7	43	10	2.1	42	4	67%	0.8	60%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	18	4.0	50	17	3.6	46	16	3.4	42	-2	-11%	-0.6	-15%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.4	43	1	0.2	39	-1	-50%	-0.2	-50%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				30	6.4	44	28	6.0	42	28	-7%	-0.4	-7%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	17	3.8	49	24	5.2	50	24	5.2	46	7	41%	1.3	35%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。



## 取手・竜ヶ崎医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は52,284人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は98人(13%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は206人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

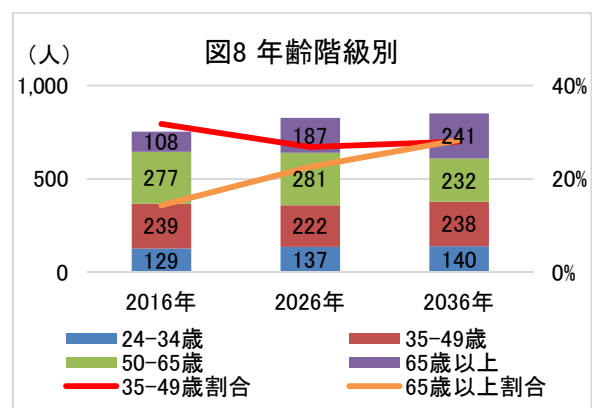
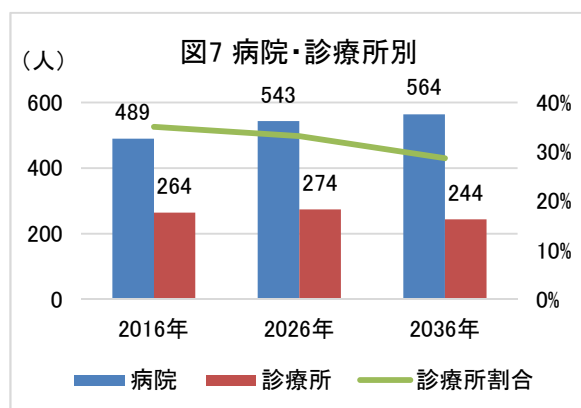
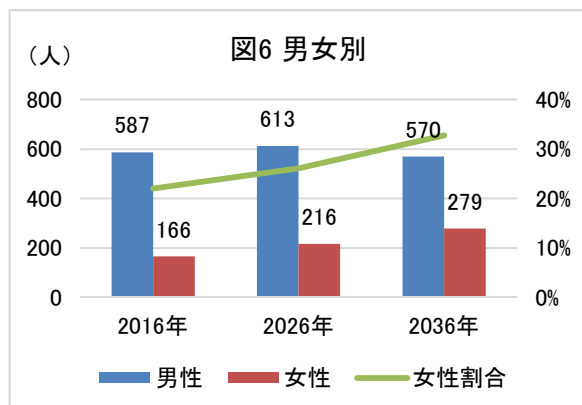
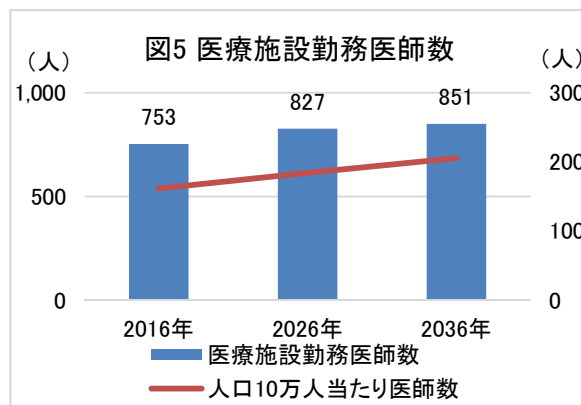
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて17人(-3%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に113人(68%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は33%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて75人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に20人(-8%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(0%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて133人(123%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年14%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



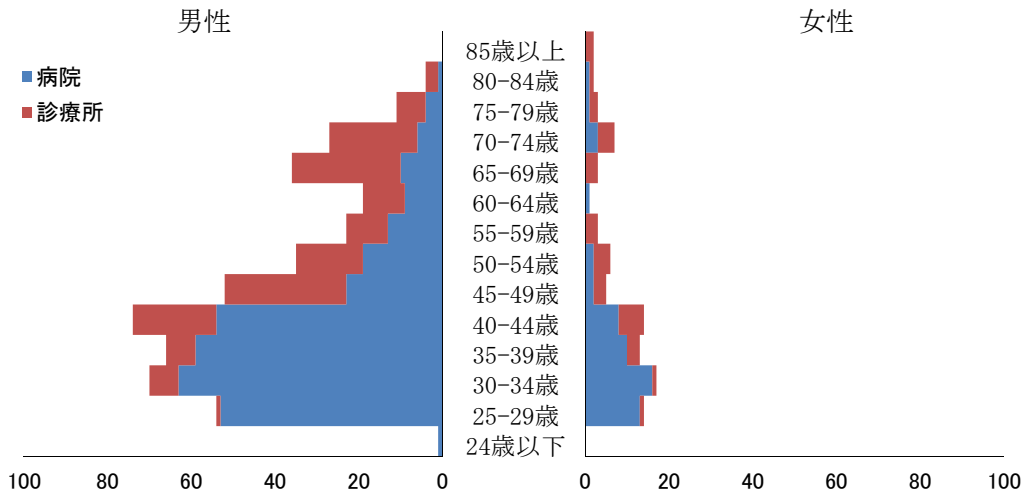
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 取手・竜ヶ崎医療圏

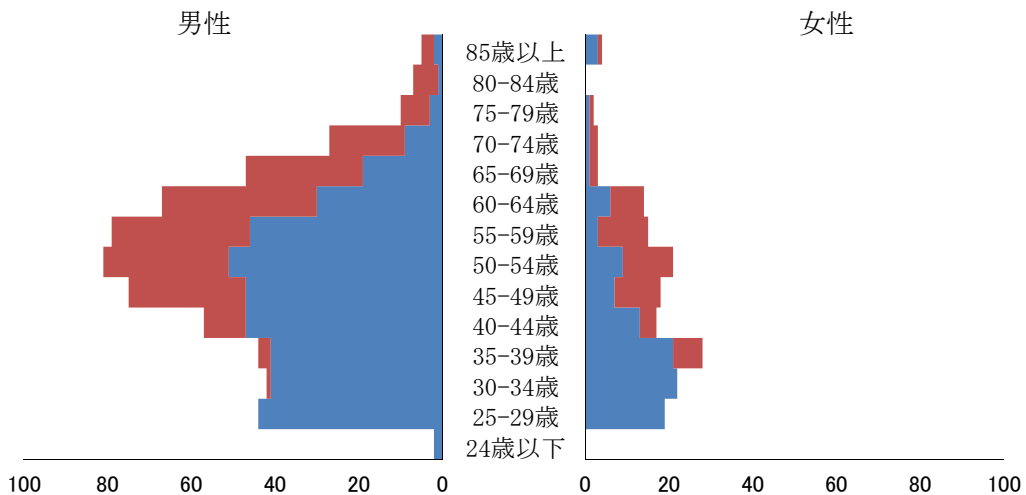
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

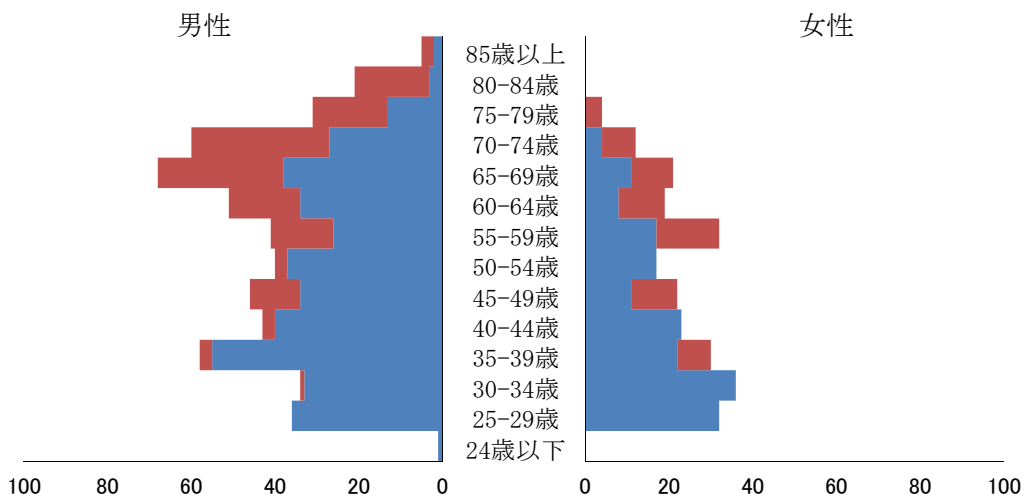
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 取手・竜ヶ崎医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	465,650	448,887	413,366	-52,284	-11%	-16,763	-4%	-35,521	-8%	
医療施設勤務医師数	753	827	851	98	13%	74	10%	24	3%	
人口10万対	161.7	184.2	205.9	44.2	27%	22.5	14%	21.6	12%	
男性医師数	587	613	570	-17	-3%	26	4%	-43	-7%	
人口10万対	126.1	136.6	137.9	11.8	9%	10.5	8%	1.3	1%	
女性医師数	166	216	279	113	68%	50	30%	63	29%	
人口10万対	35.6	48.1	67.5	31.8	89%	12.5	35%	19.4	40%	
病院勤務医師数	489	543	564	75	15%	54	11%	21	4%	
人口10万対	105.0	121.0	136.4	31.4	30%	16.0	15%	15.5	13%	
診療所勤務医師数	264	274	244	-20	-8%	10	4%	-30	-11%	
人口10万対	56.7	61.0	59.0	2.3	4%	4.3	8%	-2.0	-3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	129	137	140	11	9%	8	6%	3	2%
	35-49歳	239	222	238	-1	0%	-17	-7%	16	7%
	50-64歳	277	281	232	-45	-16%	4	1%	-49	-17%
	65歳以上	108	187	241	133	123%	79	73%	54	29%
	75歳以上(再掲)	28	44	76	48	171%	16	57%	32	73%
男性	24-34歳	88	93	71	-17	-19%	5	6%	-22	-24%
	35-49歳	176	140	155	-21	-12%	-36	-20%	15	11%
	50-64歳	227	218	152	-75	-33%	-9	-4%	-66	-30%
	65歳以上	96	162	192	96	100%	66	69%	30	19%
	75歳以上(再掲)	22	38	60	38	173%	16	73%	22	58%
女性	24-34歳	41	44	67	26	63%	3	7%	23	52%
	35-49歳	63	81	83	20	32%	18	29%	2	2%
	50-64歳	50	68	89	39	78%	18	36%	21	31%
	65歳以上	12	23	40	28	233%	11	92%	17	74%
	75歳以上(再掲)	6	5	11	5	83%	-1	-17%	6	120%
病院	24-34歳	128	136	139	11	9%	8	6%	3	2%
	35-49歳	176	172	185	9	5%	-4	-2%	13	8%
	50-64歳	145	154	137	-8	-6%	9	6%	-17	-11%
	65歳以上	40	81	103	63	158%	41	103%	22	27%
	75歳以上(再掲)	10	14	27	17	170%	4	40%	13	93%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	63	42	43	-20	-32%	-21	-33%	1	2%
	50-64歳	132	123	66	-66	-50%	-9	-7%	-57	-46%
	65歳以上	68	108	134	66	97%	40	59%	26	24%
	75歳以上(再掲)	18	31	48	30	167%	13	72%	17	55%
	85歳以上(再掲)	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 筑西・下妻医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は30,188人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(-6%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は100人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は5%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

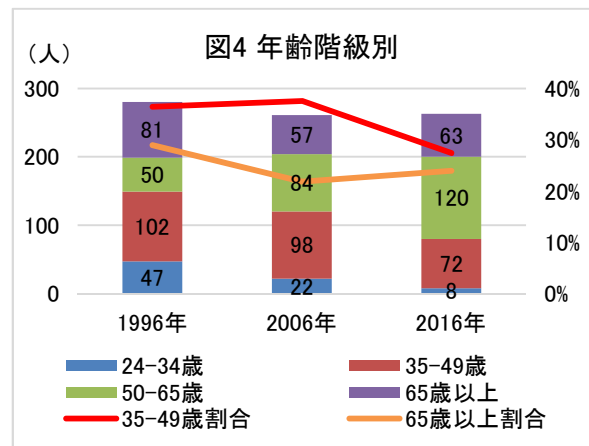
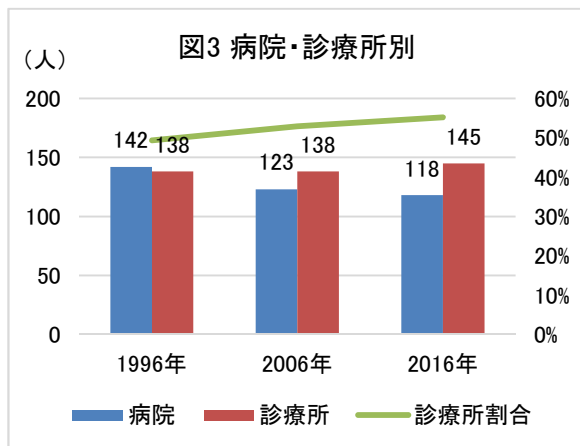
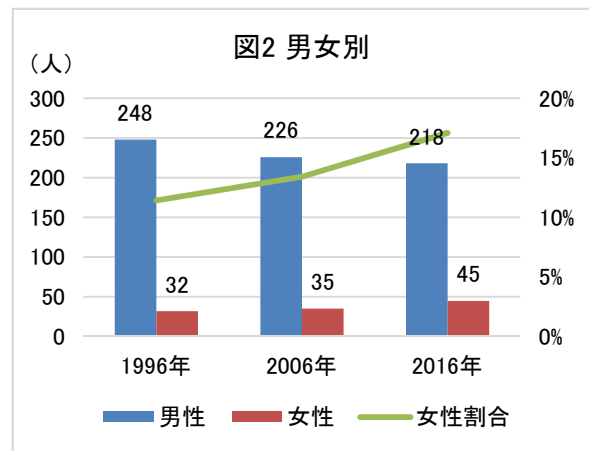
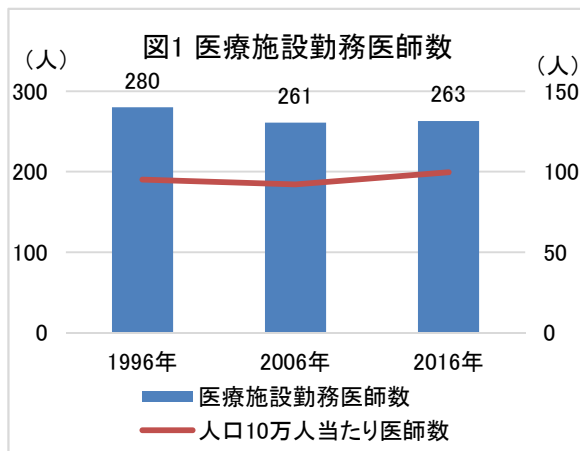
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて30人(-12%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に13人(41%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて24人(-17%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に7人(5%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は55%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は30人(-29%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて18人(-22%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年29%、2016年24%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 筑西・下妻医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	294,301	283,485	264,113	-30,188	-10%	-10,816	-4%	-19,372	-7%	
総医師数	284	270	277	-7	-2%	-14	-5%	7	3%	
人口10万対	96.5	95.2	104.9	8.4	9%	-1.3	-1%	9.6	10%	
医療施設勤務医師数	280	261	263	-17	-6%	-19	-7%	2	1%	
人口10万対	95.1	92.1	99.6	4.4	5%	-3.1	-3%	7.5	8%	
男性医師数	248	226	218	-30	-12%	-22	-9%	-8	-4%	
人口10万対	84.3	79.7	82.5	-1.7	-2%	-4.5	-5%	2.8	4%	
女性医師数	32	35	45	13	41%	3	9%	10	29%	
人口10万対	10.9	12.3	17.0	6.2	57%	1.5	14%	4.7	38%	
病院勤務医師数	142	123	118	-24	-17%	-19	-13%	-5	-4%	
人口10万対	48.2	43.4	44.7	-3.6	-7%	-4.9	-10%	1.3	3%	
診療所勤務医師数	138	138	145	7	5%	0	0%	7	5%	
人口10万対	46.9	48.7	54.9	8.0	17%	1.8	4%	6.2	13%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.3	53.6	56.6	4.3	8%	1.3	2%	3.0	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	47	22	8	-39	-83%	-25	-53%	-14	-64%
	35-49歳	102	98	72	-30	-29%	-4	-4%	-26	-27%
	50-64歳	50	84	120	70	140%	34	68%	36	43%
	65歳以上	81	57	63	-18	-22%	-24	-30%	6	11%
	75歳以上(再掲)	25	28	23	-2	-8%	3	12%	-5	-18%
男性	24-34歳	41	14	3	-38	-93%	-27	-66%	-11	-79%
	35-49歳	88	84	55	-33	-38%	-4	-5%	-29	-35%
	50-64歳	45	74	104	59	131%	29	64%	30	41%
	65歳以上	74	54	56	-18	-24%	-20	-27%	2	4%
	75歳以上(再掲)	21	27	21	0	0%	6	29%	-6	-22%
女性	24-34歳	6	8	5	-1	-17%	2	33%	-3	-38%
	35-49歳	14	14	17	3	21%	0	0%	3	21%
	50-64歳	5	10	16	11	220%	5	100%	6	60%
	65歳以上	7	3	7	0	0%	-4	-57%	4	133%
	75歳以上(再掲)	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
病院	24-34歳	46	21	6	-40	-87%	-25	-54%	-15	-71%
	35-49歳	62	52	43	-19	-31%	-10	-16%	-9	-17%
	50-64歳	17	37	45	28	165%	20	118%	8	22%
	65歳以上	17	13	24	7	41%	-4	-24%	11	85%
	75歳以上(再掲)	5	5	7	2	40%	0	0%	2	40%
診療所	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	40	46	29	-11	-28%	6	15%	-17	-37%
	50-64歳	33	47	75	42	127%	14	42%	28	60%
	65歳以上	64	44	39	-25	-39%	-20	-31%	-5	-11%
	75歳以上(再掲)	20	23	16	-4	-20%	3	15%	-7	-30%
	85歳以上(再掲)	0	4	5	5		4		1	25%

## 筑西・下妻医療圏

## ＜医師数の推移＞

筑西・下妻医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	280	95.1	39	261	92.1	36	263	99.6	34	-17	-6%	4.4	5%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	130	44.2	41	124	43.7	38	131	49.6	37	1	1%	5.4	12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	3.7	34	12	4.2	34	13	4.9	35	2	18%	1.2	32%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	1.7	34	14	4.9	39	14	5.3	37	9	180%	3.6	212%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	35	11.9	40	27	9.5	38	20	7.6	35	-15	-43%	-4.3	-36%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	11	3.7	47	5	1.8	37	6	2.3	36	-5	-45%	-1.5	-39%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	28	9.5	43	26	9.2	38	24	9.1	35	-4	-14%	-0.4	-4%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	1	0.4	39	1	0%	0.4	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	1.7	39	3	1.1	34	6	2.3	37	1	20%	0.6	34%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	3.1	38	9	3.2	34	11	4.2	35	2	22%	1.1	36%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	13	4.4	43	11	3.9	40	13	4.9	42	0	0%	0.5	11%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	1.4	38	5	1.8	37	4	1.5	34	0	0%	0.2	11%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	24	8.2	46	16	5.6	41	12	4.5	37	-12	-50%	-3.6	-44%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	1.0	54	1	0.4	41	0	0.0	37	-3	-100%	-1.0	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	1	0.4	37	1	0%	0.4	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	3	1.1	39	4	1.5	37	4	0%	1.5	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	0.7	38	1	0.4	36	1	-50%	-0.3	-46%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	0.7	42	2	0.7	41	2	0.8	38	0	0%	0.1	11%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。



## 筑西・下妻医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は47,782人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は45人(-17%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は101人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は1%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

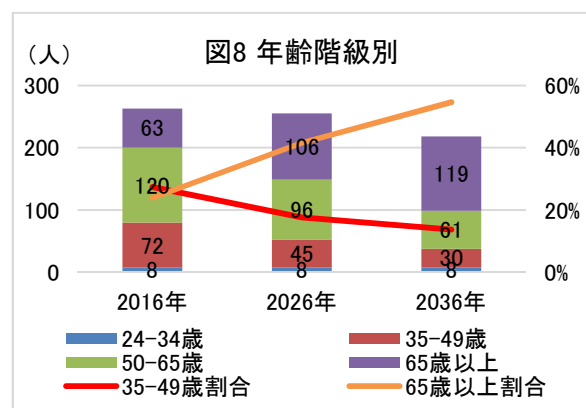
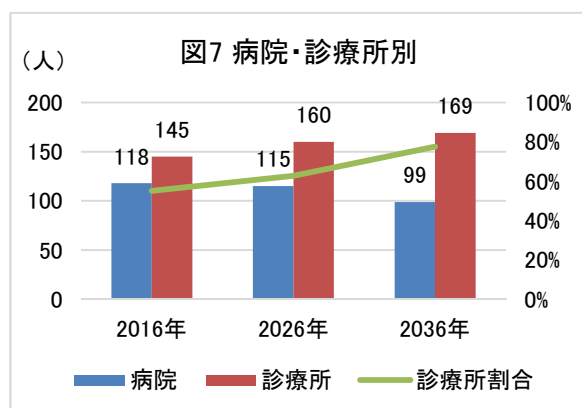
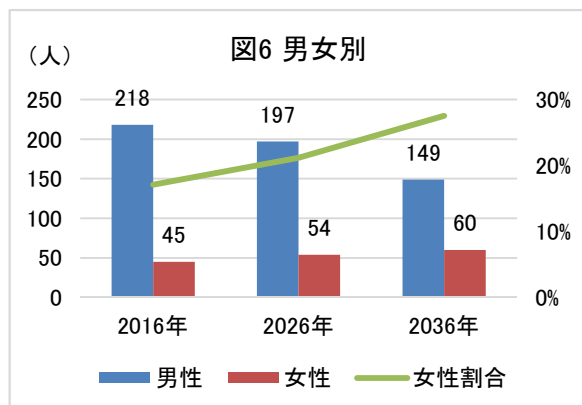
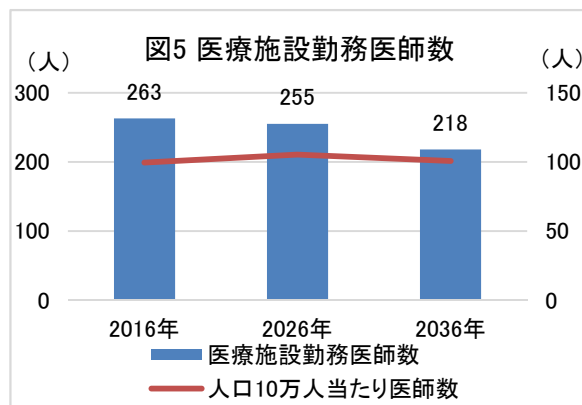
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて69人(-32%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に15人(33%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて19人(-16%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に24人(17%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は78%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は42人(-58%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて56人(89%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年55%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

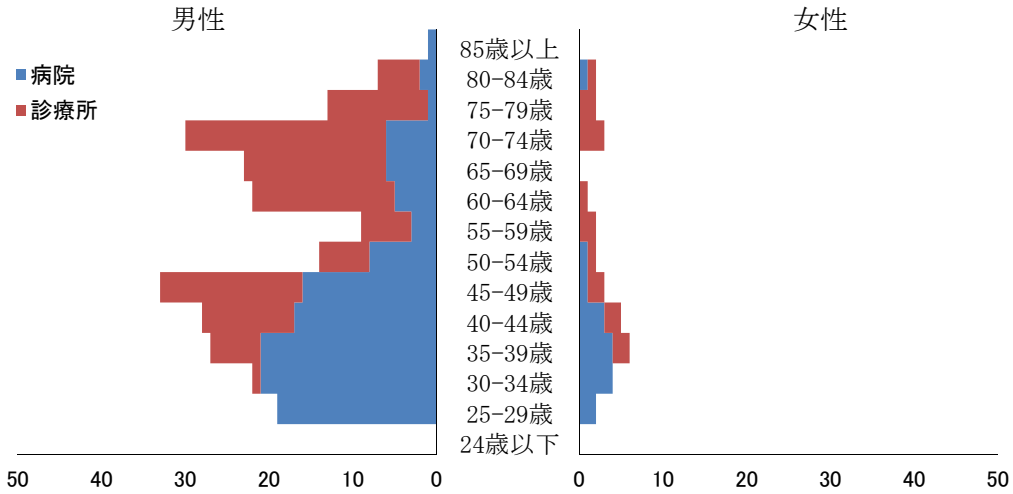


筑西・下妻医療圏

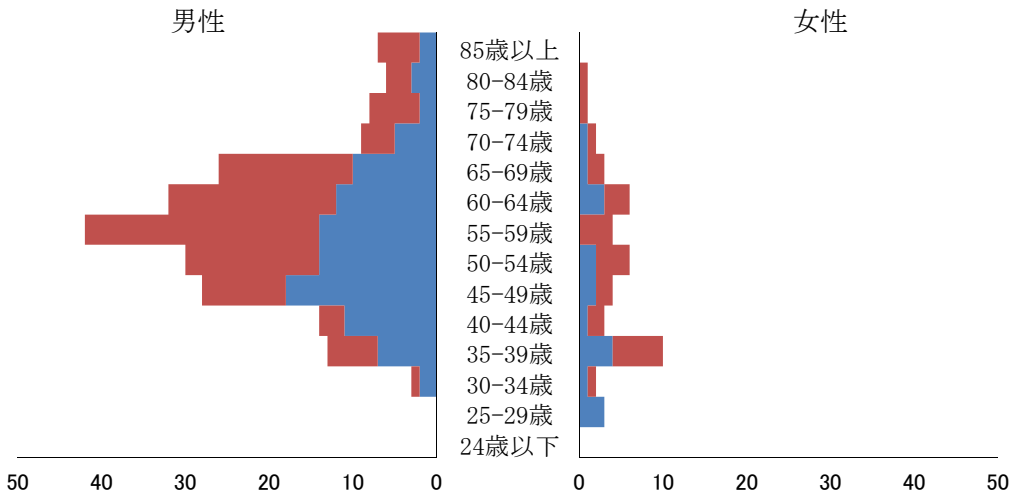
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

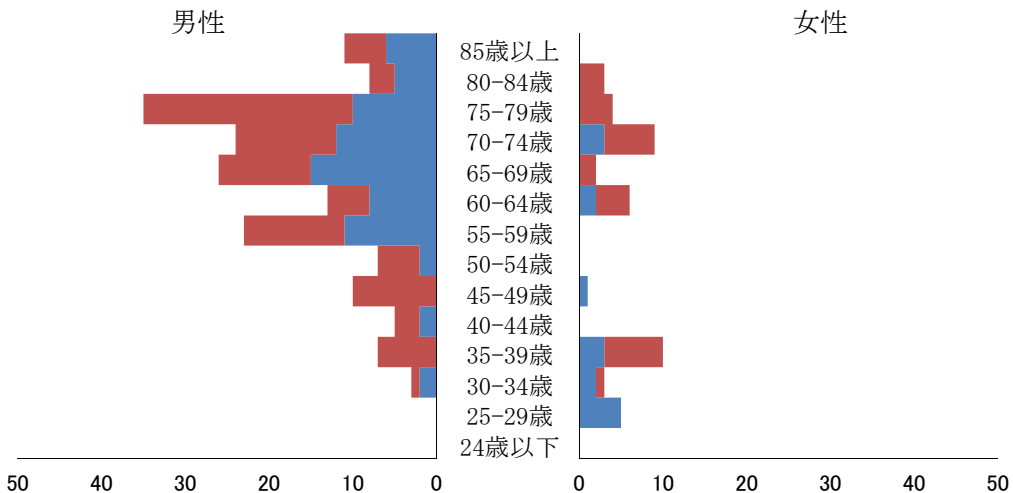
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 筑西・下妻医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	264,113	241,947	216,331	-47,782	-18%	-22,166	-8%	-25,616	-11%	
医療施設勤務医師数	263	255	218	-45	-17%	-8	-3%	-37	-15%	
人口10万対	99.6	105.4	100.8	1.2	1%	5.8	6%	-4.6	-4%	
男性医師数	218	197	149	-69	-32%	-21	-10%	-48	-24%	
人口10万対	82.5	81.4	68.9	-13.7	-17%	-1.1	-1%	-12.5	-15%	
女性医師数	45	54	60	15	33%	9	20%	6	11%	
人口10万対	17.0	22.3	27.7	10.7	63%	5.3	31%	5.4	24%	
病院勤務医師数	118	115	99	-19	-16%	-3	-3%	-16	-14%	
人口10万対	44.7	47.5	45.8	1.1	2%	2.9	6%	-1.8	-4%	
診療所勤務医師数	145	160	169	24	17%	15	10%	9	6%	
人口10万対	54.9	66.1	78.1	23.2	42%	11.2	20%	12.0	18%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	72	45	30	-42	-58%	-27	-38%	-15	-33%
	50-64歳	120	96	61	-59	-49%	-24	-20%	-35	-36%
	65歳以上	63	106	119	56	89%	43	68%	13	12%
	75歳以上(再掲)	23	39	57	34	148%	16	70%	18	46%
男性	24-34歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	35-49歳	55	22	4	-51	-93%	-33	-60%	-18	-82%
	50-64歳	104	80	41	-63	-61%	-24	-23%	-39	-49%
	65歳以上	56	92	102	46	82%	36	64%	10	11%
	75歳以上(再掲)	21	34	51	30	143%	13	62%	17	50%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	17	18	16	-1	-6%	1	6%	-2	-11%
	50-64歳	16	17	15	-1	-6%	1	6%	-2	-12%
	65歳以上	7	14	21	14	200%	7	100%	7	50%
	75歳以上(再掲)	2	5	9	7	350%	3	150%	4	80%
病院	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	43	20	13	-30	-70%	-23	-53%	-7	-35%
	50-64歳	45	49	26	-19	-42%	4	9%	-23	-47%
	65歳以上	24	40	54	30	125%	16	67%	14	35%
	75歳以上(再掲)	7	17	23	16	229%	10	143%	6	35%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	29	46	47	18	62%	17	59%	1	2%
	50-64歳	75	45	52	-23	-31%	-30	-40%	7	16%
	65歳以上	39	67	68	29	74%	28	72%	1	1%
	75歳以上(再掲)	16	22	39	23	144%	6	38%	17	77%
	85歳以上(再掲)	5	3	5	0	0%	-2	-40%	2	67%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 古河・坂東医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は14,961人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は101人(48%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は137人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は58%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

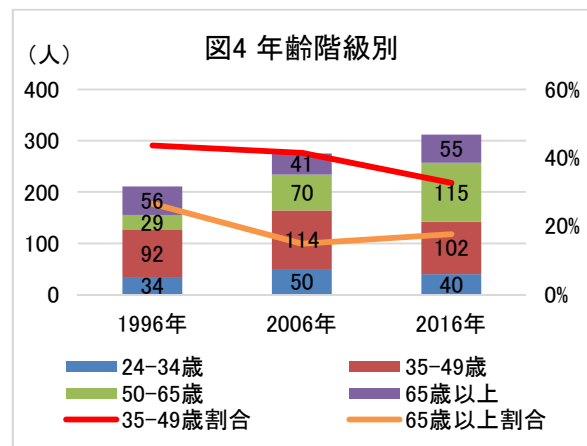
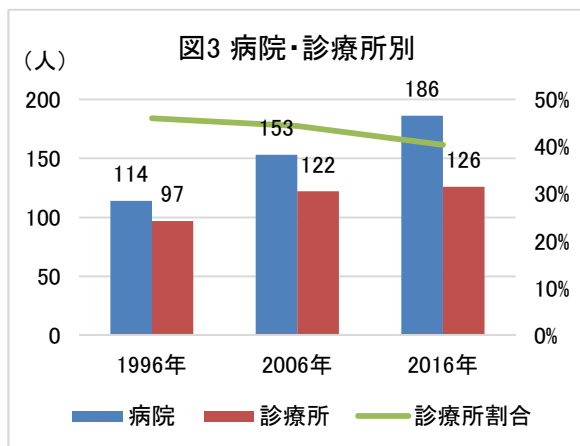
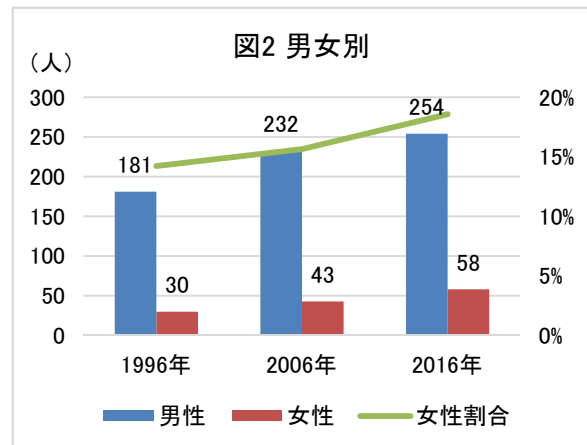
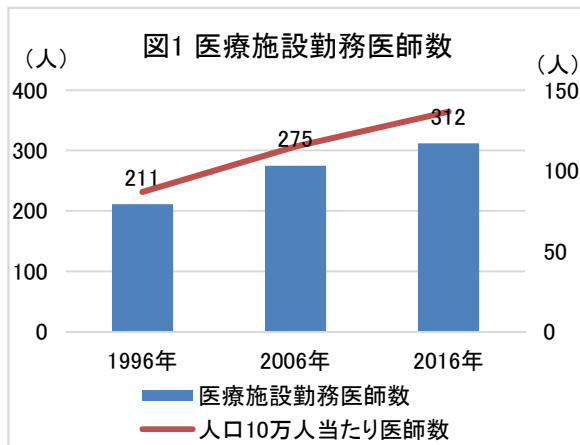
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて73人(40%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に28人(93%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて72人(63%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に29人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(11%)増え、全国平均(11%)と同程度の増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-2%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 古河・坂東医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	243,297	239,122	228,336	-14,961	-6%	-4,175	-2%	-10,786	-5%	
総医師数	215	284	319	104	48%	69	32%	35	12%	
人口10万対	88.4	118.8	139.7	51.3	58%	30.4	34%	20.9	18%	
医療施設勤務医師数	211	275	312	101	48%	64	30%	37	13%	
人口10万対	86.7	115.0	136.6	49.9	58%	28.3	33%	21.6	19%	
男性医師数	181	232	254	73	40%	51	28%	22	9%	
人口10万対	74.4	97.0	111.2	36.8	50%	22.6	30%	14.2	15%	
女性医師数	30	43	58	28	93%	13	43%	15	35%	
人口10万対	12.3	18.0	25.4	13.1	106%	5.7	46%	7.4	41%	
病院勤務医師数	114	153	186	72	63%	39	34%	33	22%	
人口10万対	46.9	64.0	81.5	34.6	74%	17.1	37%	17.5	27%	
診療所勤務医師数	97	122	126	29	30%	25	26%	4	3%	
人口10万対	39.9	51.0	55.2	15.3	38%	11.2	28%	4.2	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.5	48.9	52.4	1.9	4%	-1.6	-3%	3.5	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	34	50	40	6	18%	16	47%	-10	-20%
	35-49歳	92	114	102	10	11%	22	24%	-12	-11%
	50-64歳	29	70	115	86	297%	41	141%	45	64%
	65歳以上	56	41	55	-1	-2%	-15	-27%	14	34%
	75歳以上(再掲)	17	21	19	2	12%	4	24%	-2	-10%
男性	24-34歳	25	40	30	5	20%	15	60%	-10	-25%
	35-49歳	81	96	74	-7	-9%	15	19%	-22	-23%
	50-64歳	26	61	101	75	288%	35	135%	40	66%
	65歳以上	49	35	49	0	0%	-14	-29%	14	40%
	75歳以上(再掲)	14	17	16	2	14%	3	21%	-1	-6%
女性	24-34歳	9	10	10	1	11%	1	11%	0	0%
	35-49歳	11	18	28	17	155%	7	64%	10	56%
	50-64歳	3	9	14	11	367%	6	200%	5	56%
	65歳以上	7	6	6	-1	-14%	-1	-14%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	4	3	0	0%	1	33%	-1	-25%
病院	24-34歳	32	48	38	6	19%	16	50%	-10	-21%
	35-49歳	55	70	65	10	18%	15	27%	-5	-7%
	50-64歳	13	24	69	56	431%	11	85%	45	188%
	65歳以上	14	11	14	0	0%	-3	-21%	3	27%
	75歳以上(再掲)	2	4	5	3	150%	2	100%	1	25%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	37	44	37	0	0%	7	19%	-7	-16%
	50-64歳	16	46	46	30	188%	30	188%	0	0%
	65歳以上	42	30	41	-1	-2%	-12	-29%	11	37%
	75歳以上(再掲)	15	17	14	-1	-7%	2	13%	-3	-18%
	85歳以上(再掲)	0	3	5	5		3		2	67%

## 古河・坂東医療圏

## ＜医師数の推移＞

古河・坂東医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	211	86.7	38	275	115.0	39	312	136.6	38	101	48%	49.9	58%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	80	32.9	37	100	41.8	37	97	42.5	35	17	21%	9.6	29%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	13	5.3	37	13	5.4	36	19	8.3	41	6	46%	3.0	56%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	14	5.8	44	18	7.5	45	23	10.1	46	9	64%	4.3	75%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	26	10.7	39	31	13.0	42	38	16.6	47	12	46%	6.0	56%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.4	50	1	0.4	48	0	0.0	41	-1	-100%	-0.4	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	1.3	46	4	1.8	46	4		1.8	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	2.1	40	8	3.3	43	15	6.6	53	10	200%	4.5	220%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	18	7.4	38	24	10.0	40	29	12.7	42	11	61%	5.3	72%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	2	0.9	43	2		0.9	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	1.6	39	5	2.1	37	8	3.5	40	4	100%	1.9	113%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	14	5.8	44	23	9.6	50	23	10.1	49	9	64%	4.3	75%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	13	5.3	45	13	5.4	45	10	4.4	41	-3	-23%	-1.0	-18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	1.2	37	4	1.7	36	7	3.1	40	4	133%	1.8	149%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	17	7.0	43	13	5.4	40	14	6.1	41	-3	-18%	-0.9	-12%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0		0.0	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.4	40	0	0.0	37	5	2.2	42	4	400%	1.8	433%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	2	0.8	38	5	2.2	39	5		2.2	
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	2	0.9	42	1	100%	0.5	109%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				7	2.9	40	7	3.1	39	7	0%	0.1	5%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	0.8	42	8	3.3	46	4	1.8	40	2	100%	0.9	113%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 古河・坂東医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は38,947人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は34人(11%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は183人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

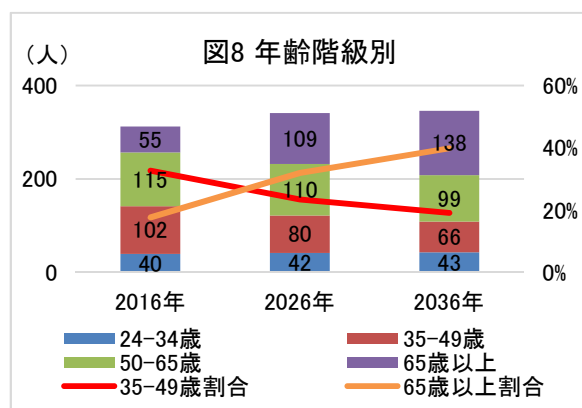
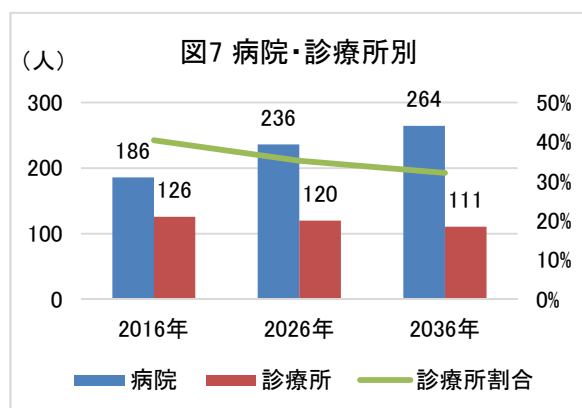
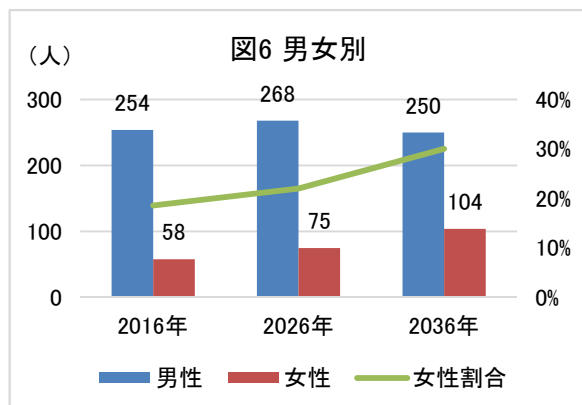
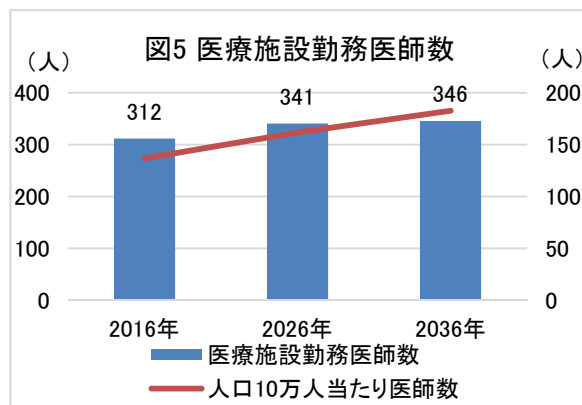
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて4人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に46人(79%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて78人(42%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に15人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は36人(-35%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて83人(151%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年40%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



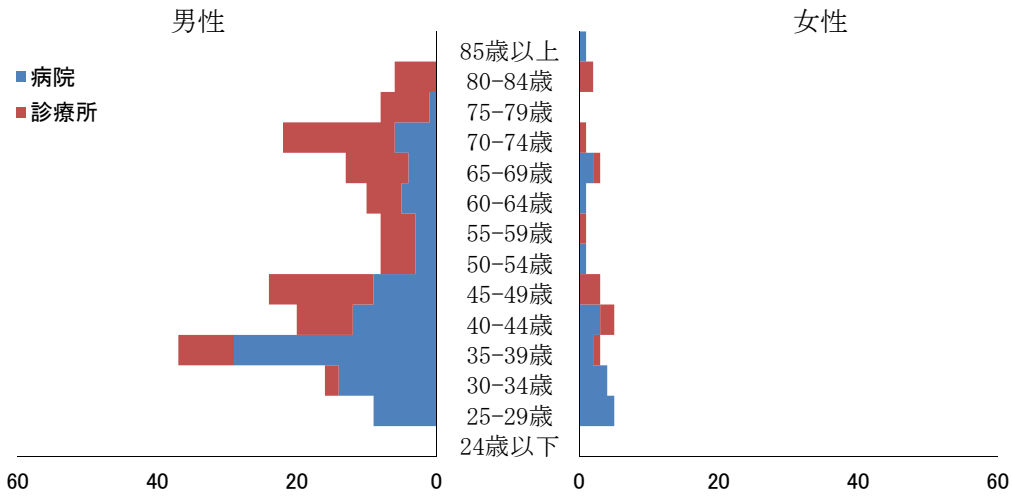
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

古河・坂東医療圏

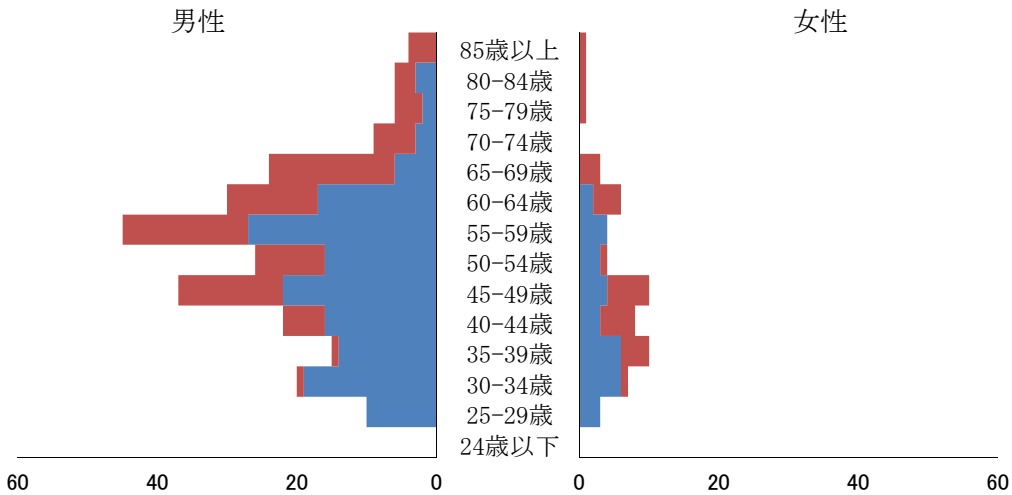
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

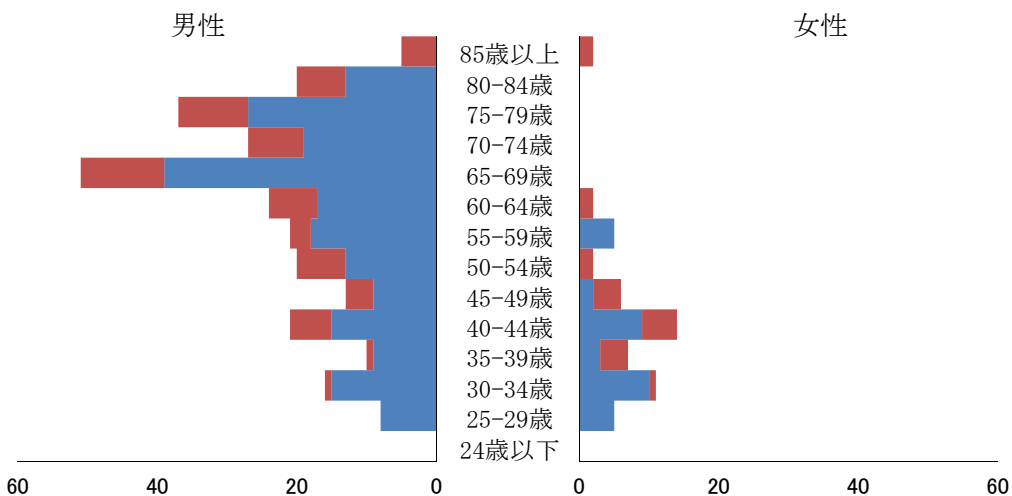
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 古河・坂東医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	228,336	210,661	189,389	-38,947	-17%	-17,675	-8%	-21,272	-10%	
医療施設勤務医師数	312	341	346	34	11%	29	9%	5	1%	
人口10万対	136.6	161.9	182.7	46.1	34%	25.2	18%	20.8	13%	
男性医師数	254	268	250	-4	-2%	14	6%	-18	-7%	
人口10万対	111.2	127.2	132.0	20.8	19%	16.0	14%	4.8	4%	
女性医師数	58	75	104	46	79%	17	29%	29	39%	
人口10万対	25.4	35.6	54.9	29.5	116%	10.2	40%	19.3	54%	
病院勤務医師数	186	236	264	78	42%	50	27%	28	12%	
人口10万対	81.5	112.0	139.4	57.9	71%	30.6	38%	27.4	24%	
診療所勤務医師数	126	120	111	-15	-12%	-6	-5%	-9	-8%	
人口10万対	55.2	57.0	58.6	3.4	6%	1.8	3%	1.6	3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	40	42	43	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	102	80	66	-36	-35%	-22	-22%	-14	-18%
	50-64歳	115	110	99	-16	-14%	-5	-4%	-11	-10%
	65歳以上	55	109	138	83	151%	54	98%	29	27%
	75歳以上(再掲)	19	29	62	43	226%	10	53%	33	114%
男性	24-34歳	30	32	24	-6	-20%	2	7%	-8	-25%
	35-49歳	74	52	45	-29	-39%	-22	-30%	-7	-13%
	50-64歳	101	87	66	-35	-35%	-14	-14%	-21	-24%
	65歳以上	49	97	115	66	135%	48	98%	18	19%
	75歳以上(再掲)	16	25	52	36	225%	9	56%	27	108%
女性	24-34歳	10	10	16	6	60%	0	0%	6	60%
	35-49歳	28	32	28	0	0%	4	14%	-4	-13%
	50-64歳	14	25	45	31	221%	11	79%	20	80%
	65歳以上	6	8	15	9	150%	2	33%	7	88%
	75歳以上(再掲)	3	4	5	2	67%	1	33%	1	25%
病院	24-34歳	38	40	41	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	65	53	44	-21	-32%	-12	-18%	-9	-17%
	50-64歳	69	71	68	-1	-1%	2	3%	-3	-4%
	65歳以上	14	72	111	97	693%	58	414%	39	54%
	75歳以上(再掲)	5	6	45	40	800%	1	20%	39	650%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	37	27	27	-10	-27%	-10	-27%	0	0%
	50-64歳	46	39	30	-16	-35%	-7	-15%	-9	-23%
	65歳以上	41	52	52	11	27%	11	27%	0	0%
	75歳以上(再掲)	14	22	27	13	93%	8	57%	5	23%
	85歳以上(再掲)	5	4	6	1	20%	-1	-20%	2	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)